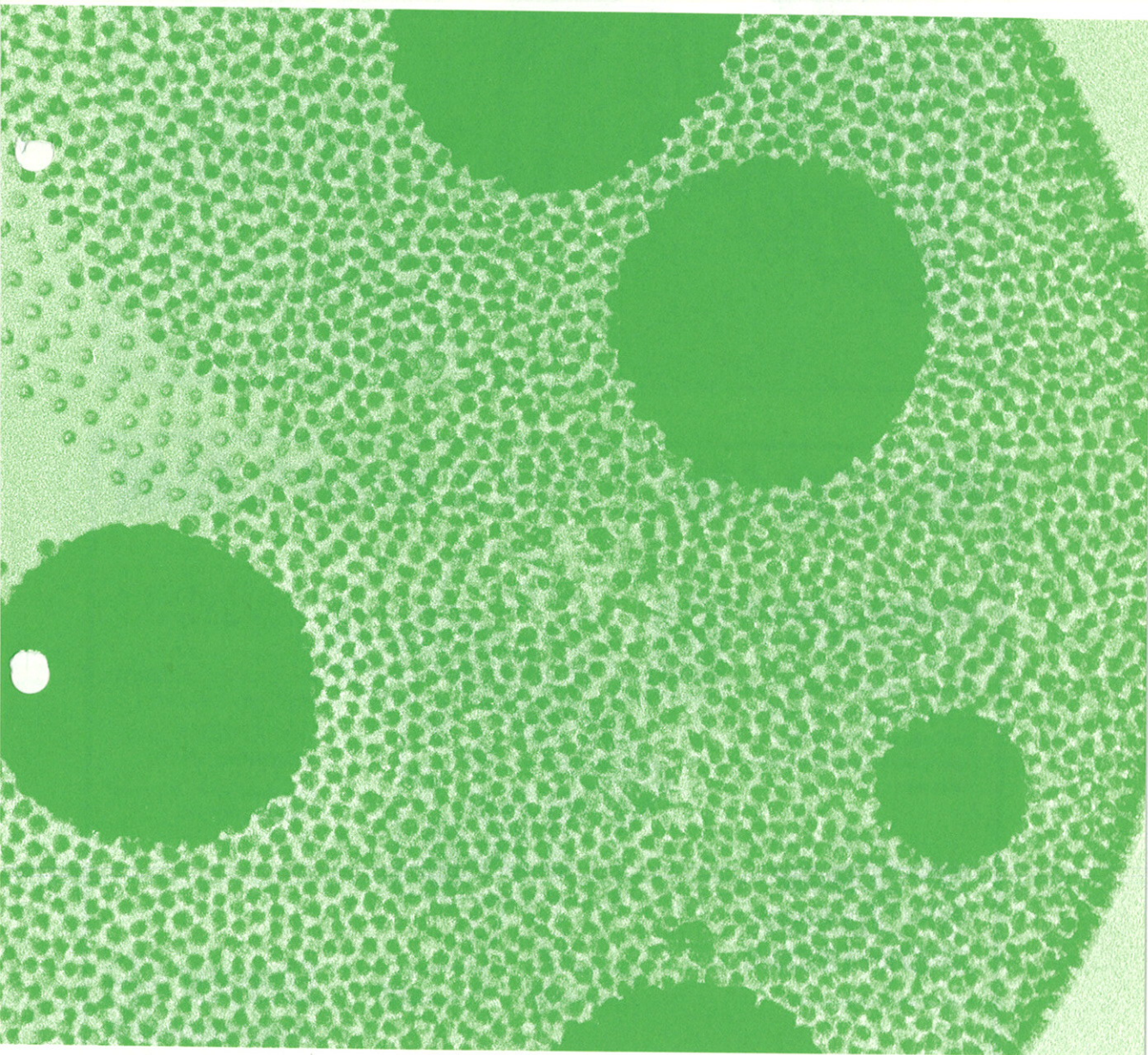


植調

第28巻第12号



緑藻類・オオヒゲマワリ属 (*Volvox globator*) の拡大写真

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

ひと足伸びた
馬力の一発。

シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利です。省力化の時代に応じて、今ここに新しいタイプの初中期一発処理除草剤の誕生です。

水田初中期一発処理除草剤
シンザン® 粒剤

⑤：住友化学工業㈱・日本バイエルアグロケム㈱・三井東圧化学㈱の共有登録商標

〈シンザン普及会〉

塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／
日本バイエルアグロケム／住友化学工業
三井東圧化学／三井東圧農業

(事務局)

三井東圧農業株式会社
東京都中央区日本橋室町2-1-1

軽くて良く効く！ バイエルの1キロ粒剤

水田初・中期一発処理1キロ除草剤

バイエルの1キロ除草剤は軽量・小型・まきやすい粒剤で、なんといっても楽。効果は高く、機械散布に対応しているおなじみの粒剤から生まれたミニ袋。はるかに省力化された除草剤で、これからの時代にあった雑草防除のための傑作。

—— バイエル ——
ザーフ1キロ粒剤
ザーフD1キロ粒剤
アクト1キロ粒剤

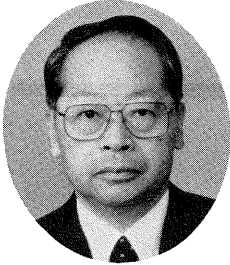
* 地域に合わせてお選びください。



- ノビエから水田一年生雑草・多年生雑草に優れた効果を示します。
- クログワイやセリなど難防除草に高い効果が期待できます。
- 最近とくに問題のアオミドロや表層剥離の発生も抑えます。
- 処理適期幅が広く、実用的な除草効果があがります。

Bayer

日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108



巻 頭 言

水 田 と 水

(財)日本植物調節剤研究協会 専務理事 小澤 啓男

一昨年の大冷害が一転して、昨年は干天続きの猛暑で、すべてにおいて「水」の有り難さを嫌という程、味合わされた。

我が国は有数の多雨地帯であるアジアモンスーン地帯に位置しており、春の「ナタネ梅雨」1か月近く続く「梅雨」、秋雨前線の停滞する「9月の長雨」など雨の機会が多く、水資源に恵まれていると誰しも思う。国土庁編集の水資源白書によると、昭和36年から30年間の年平均降水量は1,730ミリで、これは、世界平均の約2倍に当たり、やはり多いと言える。ところが、人口1人当たりで換算してみると、世界平均値の5分の1に過ぎず、諸外国に比べ必ずしも豊富とは言えない。更に、悪いことに我が国の地形は急峻で、河川の流路が短く、集中的に降る雨は洪水になり易く、貯水施設が十分でないことでは、常に水不足の不安にさらされている。

我が国の水の使用形態は、農業用水、工業用水、生活用水とに大別され、2割弱の生活用水に比べると農業用水は6割を越え、はるかに多い。農業用水はすべて水田で利用しているわけではないが、上手に使えば再度、活用できる面を持っている。治水の不十分な一昔前、自然との戦いは水との戦いであった。長雨が続きと水田の流亡を守るために、川岸に濡れそぼって佇む農夫の姿があった。水は無くてはならないものであると同時に、怖くて、恐ろしいものでもあったのである。

農村という集落の中では協調性が最も重要で「村八分」と言う私的制裁があり、「田んぼに水をやらない」と言われればもう生活の場を失

ったも同然であった。農家は、このように水を大事にすると同時に「水田は土壤が在って水が在る」と土壤を大事にした。水を得、土壤を失わないために、対岸同志、上流と下流、隣接田同志などで、醜い争いもいくつか生じたが、農民の心情は一つであった。

水田1ヘクタールの水利権は1日約200トンと言われている。水田の代掻きは、ある水深をもって行われる。田植作業のために、この水を落水するのを良く見聞きする。代掻き後、間もないから、濁り水である。とすると、この排水中には10アールで約1トンの土壤が含まれると言われる。言い換えれば、水田の一番優れた表層土が1トン消えて無くなることになる。

「土を大事にし、水を守る」農民の基本精神も時を経て、護岸工事もほぼ整い洪水の心配も薄れたし、栽培管理も農業機械の操作を意識するようになってきた。また、米の生産自体も調整されるようになってきた現在では、徐々に希薄化してきたのは止むを得ないとも思う。しかし、水と上手につき合う気持ちだけは失ってはいけない。水田にとり、水口からの灌水の重要さと共に、不完全な畦畔からの漏水や、排水が他に及ぼす影響について良く認識して欲しい。

水田はダムである……との説がある。正に、その通りだと思う。その機能を充分、良い方向に生かすために、水稻栽培農家は、いったん、取水し利用した水を再び有効に利用できるように、利用痕跡を最少にして、一般河川に帰すよう努めなければならない。「水田は自然のダムである」と言われるためにも。

目 次

(第 28 卷 第 12 号)

巻 頭 言

水 田 と 水…………… 1

<財>日本植物調節剤研究協会

専務理事 小澤啓男>

平成 6 年度水稲作関係除草剤試験成績概

要…………… 7

<財>日本植物調節剤研究協会 技術部>

植調協会だより……………61

中国西北地域の乾燥地と半乾燥地におけ

る砂防用植物…………… 3

<宇都宮大学雑草科学研究センター

一前宣正>

使って安心、三共の農薬。



三共株式会社

- 畦畔から手軽にまける
(新しい)水田初期一発処理剤

カルショット® フロアブル
Lフロアブル

- 水田初期一発処理剤

ミスラッシャ® 粒剤

- 移植前・水田初期除草剤

シング® 乳剤

- 水田初期除草剤

サンバード® 粒剤

- 新しい水田中期除草剤

ザーベックス® SM粒剤

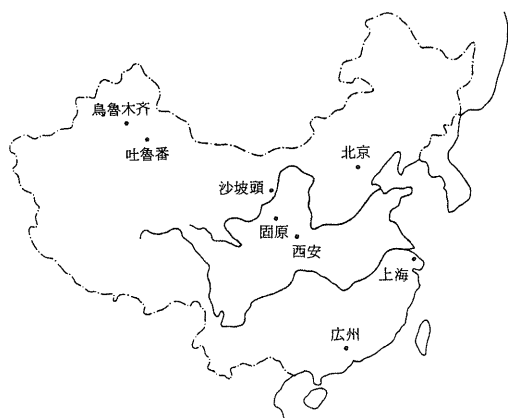
中国西北地域の乾燥地と 半乾燥地における砂防用植物

宇都宮大学雑草科学研究センター 一前 宣正

1. はじめに

中国では日本の26倍に及ぶ国土と豊富な資源を擁するが、悠久な歴史、稠密な人口、地理的多様性などから、生態系の劣化が極度に進み、現在の地球環境問題が象徴的に表現されています。中国西北地域では人間活動に伴う砂漠化が著しく、砂漠化防止あるいは緑化研究が重要な課題となっている。筆者は1988年以来、西北地域の緑化研究に携わる機会に恵まれ、この中で、日本にはみられない優れた砂防用植物を見聞した。これらの植物はいずれも種子でよく繁殖し、発芽～生育のケミカルコントロールを通して企業活動や国際貢献に寄与することも考えられるので、本誌に植物の種類と特徴をまとめた。

2. 調査地の気候



第1図 中国の主要都市と調査地

調査地は中国西北地域の3か所(第1図)で、標高、気温、降雨量を第1表に示した。吐魯番(トルファン)は新疆維吾爾自治区にあり、塔克拉玛干(タクラマカン)砂漠の東北方向に位置し、年降雨量が16mm、最高気温47.6℃、最低気温-28.6℃という典型的な乾燥地である。この周辺は吐魯番盆地と呼ばれ、標高-85m、近くに高昌故城や火焰山などの観光地が知られており、訪れた日本人も多い。人々はオアシスに住み、古くから天山山脈を源とする地下水をカレーズと呼ばれる井戸から汲み上げ、オアシスの周りに流砂防止のため造林し、その中でブドウ栽培を営んでいる。最近では、人口増加に伴って、地下水をより深い層からポンプアップする方法が普及し、水源の涸渇が懸念されている。沙坡頭(サボト)は寧夏回族自治区で、騰格里(トングリ)砂漠の南部に位置し、年降雨量177mm、最高気温38.1℃、最低気温-25.0℃となり、FAOが決めた年降雨量200mm以下の乾燥地に入る。標高1,200mは河口から

第1表 調査地の気候

項目	固原	沙坡頭	吐魯番
標高(m)	1,750	1,200	-85
年平均気温(℃)	6.2	9.6	13.9
日最高気温(℃)	28.5	38.1	47.6
日最低気温(℃)	-22.2	-25.0	-28.6
年降雨量(mm)	478	177	16

200 km 上流にあたる黄河の水位を示している。住民は黄河の流域で農業を営み、砂漠地であっても地下水位の比較的高い所を選んで流砂防止のため造林している。固原（グーユエン）は寧夏回族自治区で、黄土高原の西北部に位置し、標高 1,750 m の丘陵地である。ここは年降雨量 478 mm, 最高気温 28.5℃, 最低気温 -22.2℃ となり、FAO 基準の年降雨量 200 ~ 600 mm の範囲に入る半乾燥地域である。住民は至るところに段々畑を造成してコムギを栽培し、急傾斜地でヒツジを過放牧の状態で飼っている。黄土は集中豪雨的な雨で毎年膨大な量が流亡しており、黄土と水の流亡防止のための方策が緊急の課題である。

3. 砂 防 用 植 物

吐魯番において優れた砂防用植物は第 2 表の

第 2 表 吐魯番における砂防用植物

科	学 名
ギョリュウ科	<i>Tamarix arcenthoides</i>
	<i>T. austromongolica</i>
	<i>T. chinensis</i>
	<i>T. elongata</i>
	<i>T. hispida</i>
	<i>T. hohenackeri</i>
	<i>T. laxa</i>
	<i>T. leptostachys</i>
	<i>T. ramosissima</i>
	<i>T. taklamakanensis</i>
タデ科	<i>Calligonum aphyllum</i>
	<i>C. arborescens</i>
	<i>C. cordatum</i>
	<i>C. densum</i>
	<i>C. junceum</i>
	<i>C. leucocladum</i>
	<i>C. potaninii</i>
	<i>C. pumilum</i>
アカザ科	<i>Haloxylon ammodendron</i>
	<i>H. persicum</i>

通り、植物の種数が少なく、いずれも木本性植物で、著しい耐旱、耐寒、耐暑性を具えている。*Tamarix* spp. は柺柳といい、高さ 1 m ほどである。*Calligonum* spp. は沙拐枣といい、高さ 1 ~ 2 m, *Haloxylon* spp. は梭梭といい、高さ 2 ~ 4 m になる。この地域での研究は中国科学院新疆生物土壤沙漠研究所および中国科学院塔魯番沙漠植物園が中心で、植物種子の交換に依拠している。沙坡頭における砂防用植物

第 3 表 沙坡頭における砂防用植物

科	学 名
キ ク 科	<i>Artemisia ordosica</i>
	<i>A. sphaerocephala</i>
マ メ 科	<i>Caragana hololeuca</i>
	<i>C. intermedia</i>
	<i>C. korshinskii</i>
	<i>C. microphylla</i>
	<i>Hedysarum fruticosum</i>
	<i>H. multijugum</i>
	<i>H. scoparium</i>

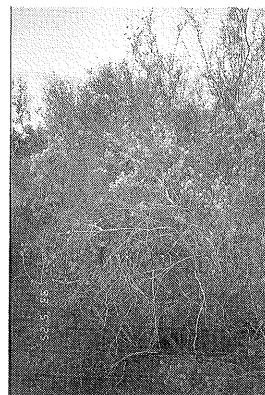
第 4 表 固原における砂防用植物

科	学 名
キ ク 科	<i>Artemisia frigida</i>
シ ソ 科	<i>Thymus mongolicus</i>
マ メ 科	<i>Caragana korshinskii</i>
	<i>Lespedeza bicolor</i>
	<i>Robinia pseudoacacia</i>
バ ラ 科	<i>Potentilla acaulis</i>
	<i>Prunus davidiana</i>
ミ ソ ハ ギ 科	<i>Hippophae rhamnoides</i>
ヤ ナ ギ 科	<i>Populus beijing</i>
	<i>Salix matsudana</i>
マ ツ 科	<i>Pinus tabulaeformis</i>
イ ネ 科	<i>Stipa bungeana</i>

写真1. *Caragana korshinskii*

は第3表に示した通りで、いずれも木本性植物、耐旱性、耐寒性、耐暑性を具えている。特に *Artemisia ordosica* (油蒿, 沙蓬), *Caragana korshinskii* (柠条) および *Hedysarum scoparium* (花棒) が優れ、1 m内外である。砂防研究は中国科学院蘭州沙漠研究所および沙坡頭沙漠研究所が中心になって実施されている。固原における砂防用植物は第4表に示した通りで、上述した乾燥地にくらべて植物の種類が多いこと、木本性のみならず草本性植物も含まれることに特徴がある。木本

性植物は *Thymus* (百里香), *Caragana*, *Lespedeza* (二色胡枝子), *Robinia* (洋槐), *Prunus* (山桃), *Hippophae* (沙棘), *Populus* (北京楊),

写真2. *Calligonum* spp. と *Haloxylon* spp.

Salix (旱柳), *Pinus* (油松) を含み、草本性植物は *Artemisia* (冷蒿), *Potentilla* (星状委陵菜) および *Stipa* (長芒草) がある。この地域での緑化研究は中国科学院西北水土保持研究所が担っている。

今後、様々な分野から砂漠化防止を進め、かけがえのない地球の環境保全に繋がることを切に希望している。

新刊

改訂 雑草学用語集

日本雑草学会／編集・発行
B5判 234頁 定価7,210円(税込)

雑草を研究する上で必須の文献として高い評価を受けてきた旧版を大幅に改訂。雑草学研究に必要な用語はこれ1冊でこと足りるようという編集方針のもとに、第I編 学術用語編では現時点で必要な用語、解説用語を新たに選び直した。さらに第II編 雑草名編では新たに100種を追加し、第III編 除草剤名編では新たな薬剤も加え、わが国で登録されたことのある薬剤すべてを網羅した。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

Natural Compound
HERBI

天然物で確実除草!

雑草を枯らし ハダニ類を密度抑制し

天然物だから

自然と調和して 確実除草!!

果樹園・野菜畑・桑園・

水田・非農耕地の

雑草防除……



ハービー®液剤

※果樹園の下草処理でハダニ類の密度抑制効果が認められています。

- 有効成分は天然物です。
- 作物・土壌など環境に安全です。
- 雑草を速く枯らし長く抑えます。
- ほとんどの雑草に有効です。
- 果樹等の根元まで散布でき、播種、定植直前も使用できます。
- 殺ダニ効果があります。

有効成分：ピアラホス…18%

安全性：普通物

包装：750ml



明治製薬株式会社

104 東京都中央区京橋2-4-16

水田除草はフロアブルの時代!



水口施用も
適用拡大
されました。



楽らく快適!

水稲用一発処理除草剤

■水口施用 ■手振り散布 ■田植同時施用

アワード® フロアブル

- 水田に入らず、短時間で散布できます。
- 水稲に対する安全性が高く、田植直後から使用できます。
- 水中拡散性に優れ、除草効果が安定しています。
- 散布器具が不要で大変便利です。

●農薬は正しく使いましょう!

武田薬品工業株式会社 アグロ事業部 〒103 東京都中央区日本橋2丁目12番10号

平成6年度水稲作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成6年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成6年12月9～10日の2日間、植調会館会議室において開催された。なお、適1試験は、平成6年10月6日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)成績について

平成6年度の適1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で62薬剤(のべ307点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)成績について

平成6年度の適2試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理(Ⅱ-1, 6剤40点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 8剤148点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 11剤120点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 5剤42点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 8剤111点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ86剤178点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 3

剤26点)、乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 5剤14点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 7剤48点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 5剤27点)、不耕起栽培移植・播種前雑草対象(Ⅴ, 6剤27点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 28剤291点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 69剤794点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-1), 3剤39点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-2), 3剤37点)、少量散布(Ⅷ, 5剤30点)の総のべ点数が1,972点であった。これら適2試験の判定結果は第2表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成6年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 3剤29点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 1剤5点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-5, 1剤13点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ2剤8点)、一発処理剤(Ⅶ, 6剤46点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-1), 2剤21点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-2), 1剤8点)の総のべ点数が130点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表のとおりである。

第1表 平成6年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

注) 判定欄の記号については, ◎;極めて有望, ○;有望, □;可能性あり, △;再検討, ×;見込みなし, を表す.

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
1	AC-014C-1kg 粒 [日本サイナミック]	AC-140:0.6 CH-900:3 ダイムロン:6	◎	○	○	◎	○	◎	○	全域:○, +5~16℃ (一発処理剤)
2	AGH-925-1kg 粒 [アグロス]	フタミス:9 DEH-112:1.8 ヒラゾスルフロニチル:0.3		□	○					寒冷地:□ [水稻に対する影響の 検討]
3	CH-941 フロアブル [中外製薬]	CH-900:4.5 ヘンズルフロニチル:1.4 ダイムロン:8	○	○						寒地・寒冷地北部:○, +5~16℃ (一発処理剤)
4	CH-941① フロアブル [中外製薬]	CH-900:4.5 ヘンズルフロニチル:1 ダイムロン:8			◎	○	○	○	○	寒冷地南部以西:○, +5~16℃ (一発処理剤)
5	CHA-940 フロアブル [中外製薬]	既知(3種)		◎		◎		○		○, +5~16℃ (一発処理剤)
6	CHG-948-1kg 粒 [中外製薬]	CH-900:2.1 シスルフロニ:0.18 ダイムロン:4.5	◎	○	○	○	○	□	□	寒地~温暖地:○, +5~16℃(一年生持続 型除草剤:16℃他一年生 雑草, マツバ, イ, ホトメ)
7	DH-942 フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:12 既知:3.6 既知:1.4	□	◎		□				□ [寒地:水稻に対する影 響・除草効果]
8	DH-942① フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:12 既知:3.6 既知:1			○	□	○	□	□	□ [除草効果]
9	DH-943 フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:11 シスルフロニ:0.45	□	◎	○	□	○	□	○	□ [水稻に対する影響・除 草効果]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
10	HJ-941-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):16.71	◎	○	◎	○	○	○	□	寒地～温暖地:○, +3～/t°12L(一発処理剤) 〔/t°12Lの効果. 暖地: 水稻に対する影響〕
11	HJ-942-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):8.21	◎							寒地:○
12	HJ-943-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(4種):10.71	◎	□	○	○	○	○	□	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響〕
13	HJ-944-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):13.21	○	□	○	○	○	○	□	□ 〔寒地・寒冷地北部:/t°1 に対する効果〕
14	HJ-945-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):7.21	○	□	○	□	○	○	○	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響. 寒地・ 寒冷地北部:/t°12.5L の効果〕
15	HJ-946-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):7.71	◎	□	○	□	○	○	□	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響. 寒地・ 寒冷地北部:/t°12.5L の効果〕
16	HOK-05MN-1kg 粒 〔北興化学〕	ジメト°ペレート:15 ヘンフレート:4.5 シマトリツ:3 フィノール:2.1	□	□	○	○	○	○	△	寒地～温暖地:○, /t°11.5L～3L(茎葉兼土 壌処理剤:/t°1他一年生 雑草, マツハイ, ホタルイ, ウリカ, ミスガヤツリ) 〔暖地:一年生広葉雑草 等に対する効果, 処理 時期と薬害〕
17	HOK-05MN①-1kg 粒 〔北興化学〕	ジメト°ペレート:15 ヘンフレート:4.5 シマトリツ:3 フィノール:1.8	□	○		○				寒地～温暖地東部:○, /t°11.5L～3L(茎葉兼土 壌処理剤:/t°1他一年生 雑草, マツハイ, ホタルイ, ウリカ, ミスガヤツリ)

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
18	HSW-941-1kg 粒 [北海三共]	ジメタメトリン:0.6 ピラゾレート:18 フエチクロール:3 ベンゾレート:3	◎							寒地:○, +5~12L (一発処理剤)
19	HSW-942-1kg 粒 [北海三共]	DEH-112:1.8 既知(4種): 0.06+0.3+3+0.6	○							寒地:○, +5~13L (一発処理剤)
20	IDH-120-1kg 粒 [出光興産]	新規(未):3	□	○		○		□	△	□, +5~12L [混合母剤としての活用]
21	IDH-121-1kg 粒 [出光興産]	新規2種(未):3.15	○	○		○		□	△	□, +5~12L(1L他 一年生雑草, マハイ) [秋刈に対する効果]
22	KUH-936B-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.51 メナセット:2.25 KUH-920:0.3			○	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5~12.5L (一発処理剤) [温暖地西部・暖地:1L 3Lの効果]
23	KUH-936C-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.75 フエチクロール:1.8 KUH-920:0.3	◎	◎						寒地・寒冷地北部:○, +5~13L(一発処理剤)
24	KUH-936C-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.51 フエチクロール:1.8 KUH-920:0.3			○	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5~12.5L (一発処理剤) [温暖地西部・暖地:1L 3Lの効果]
25	MK-243DS-1kg 粒 [三菱化成]	MK-243:1.5 既知(2種):0.36	◎	○	◎	○	○	○	○	全域:○, +5~12.5L (一発処理剤) [1L3Lの効果]
26	MKS-245 水和 [三笠化学]	DEH-112:2 ベンツァン(酸):20 ベンゾレート:4.5	△	○		□		○	○	□ [寒地・暖地:水稻に対 する影響. 寒地:1L に対する効果]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
27	MSC-301-1kg 粒 〔三井東圧化学〕	7-アザニル:15 7-アザニル:9 CH-900:2		○		◎		○		○, +5〜+12L(+12L他 一年生雑草, マツバ, 雑草)
28	NBA-061-1kg 粒 〔日本バイエル〕	未公開:2.5	□	△	○	○	□	□	□	□ 〔+12.5L〜3Lの効果, 混合母剤としての活用〕
29	NBA-941-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メネンセット:7.5% DEH-112:1.5% NC-311:0.3%	◎	◎		○		◎	○	○, +12.5L〜3L (一発処理剤) 〔効果の持続性〕
30	NBA-942a-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メネンセット:7.5% DEH-112:1.5% DPX-84:0.75%	◎	◎						寒地・寒冷地北部:○, +12.5L〜3L(一発処理剤) 〔効果の持続性〕
31	NBA-942b-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メネンセット:7.5% DEH-112:1.5% DPX-84:0.51% タイムロン:4.5%			◎	○	◎	◎	○	寒冷地南部以西:○, +12.5L〜3L(一発処理剤) 〔効果の持続性〕
32	NBA-943-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メネンセット:7.5% DEH-112:1.5% TH-913:0.9% タイムロン:15%	◎	◎				◎	○	○, +12.5L〜3L (一発処理剤) 〔効果の持続性〕
33	NC-311KPD顆粒水和 〔日産化学〕	ヒラゾンスルホンエチル:3.2 KPP-314:50	◎	◎		□	○		△	寒地〜温暖地:○, +0〜+12.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕
34	NC-345-1kg 粒 〔日産化学〕	ヒラゾンスルホンエチル:0.3 エスロカル:21 オキサジソン:2.4	◎	◎		○	○		△	寒地〜温暖地:○, +5〜+12.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕
35	NC-363 顆粒水和 〔日産化学〕	既知(3種): 0.84+60+9.6	○	○	◎	○	○	◎	△	寒地〜温暖地:○, +5〜+12.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
36	NC-365-1kg 粒 〔日産化学〕	既知(2種)+新規:4.3	◎	□	◎	○	○	○	○	全域:○, +5〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤) 〔寒冷地北部:水稻に対する影響〕
37	NC-366-1kg 粒 〔日産化学〕	既知+新規:4.3	◎	○	◎	○	○	◎	○	全域:○, +5〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤)
38	NSK-858 フロアブル 〔徳山曹達〕	未公開:15.4	○	○						寒地・寒冷地北部:○, +5〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤) 〔水稻に対する影響, ウィ カに対する効果〕
39	NTN-831-1kg 粒 〔三井東圧化学〕	ナゾニリト:20 プロモチト:10 メナセト:10		◎		○		○		○, +5〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤, 3kg粒剤と 同等)
40	RPJC-02 フロアブル 〔ロヌ・フーラン油化〕	ホシアゾン:6 クミロン(JC-940):24	□	○	○	□	○	□	△	全域:○, 植代後〜4, +0〜/t [*] ±1.5L(/t [*] ±他一 年生雑草, マハイ, ホルイ) 〔暖地:移植後処理での 水稻への影響 温暖地 西部:移植後処理での 効果〕
41	RYH-102-1kg 粒 〔ロヌ・フーラン油化〕	MY-100(未):0.8 既知(2種):0.36	◎	◎	◎	◎	□	○	○	全域:○, +5〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤)
42	RYH-103 フロアブル 〔ロヌ・フーラン油化〕	MY-100(未):1.2 既知(2種):19.7	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	寒地〜温暖地:○, +0〜/t [*] ±2.5L (一発処理剤) 〔暖地:+0処理での水稻 に対する影響〕
43	SB-522-1kg 粒 〔イス・ディー・イス〕	新規(未)		□		○	○		□	〔/t [*] に対する効果. 暖地:+0処理での水稻 に対する影響〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
44	SB-522 フロアブル 〔イス・デ・イー・イス〕	新規(未)		□		○	○		□	□ 〔ノビエに対する効果〕
45	SB-523 フロアブル 〔イス・デ・イー・イス〕	新規(未)		○		○	○		◎	□
46	SB-524 フロアブル 〔イス・デ・イー・イス〕	新規(未)		○		□	○		□	□
47	SB-527 フロアブル 〔イス・デ・イー・イス〕	新規(未)+既知		◎		○	◎		□	□
48	SB-528 フロアブル 〔イス・デ・イー・イス〕	タムロン:30 KPP-314:7.8	□	◎	○	○	○	□	△	寒地～温暖地:○, +0～ノビエ1.5L(ノビエ他一 年生雑草, マツハ・イ, ホタルイ, ミスガヤツリ) 〔暖地:水稻に対する影 響, コナキ, ホタルイなど効 果〕
49	SW-HW-1kg 粒 〔三共〕	ピラゾレート:12 エトベンザント(HW-52): 10 既知(2種):4.25	□	○		○		○	○	○, +0～ノビエ1.5L (ノビエ他一年生雑草, マツハ イ, ホタルイ, ウリカワ)
50	TH-913ADS [Ⓓ] -1kg 粒 〔武田薬品〕	イマゾスルフロン:0.9 フレチクロール:4.5 タムロン:15 ジメタメトリン:0.6	○	◎			○		○	○, +3～ノビエ2L (一発処理剤)
51	X-52-1kg 粒 〔日本農薬〕	クロトキシニル:21	○	△	□	□	○	△	□	□ 〔除草効果〕
52	YH-551 フロアブル 〔八洲化学〕	既知(3種):26	◎	○	○	◎			□	寒地～温暖地東部:○ +3～ノビエ2L(一発処理剤) 〔暖地:ホタルイに対する効 果〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
53	YH-561-1kg 粒 〔八洲化学〕	既知(4種):17.6	○	○	◎	◎			○	○, +5~11℃ 〔寒冷地北部:ウリカに対する効果〕
54	YH-562 フロアブル 〔八洲化学〕	既知(3種):5+10+0.5	○	◎		○				寒地~温暖地東部:○, +0~11℃(11℃他一年生雑草, マハイ, ヌルイ)
55	DH-944 フロアブル 〔大日本インキ〕	ヒリフチカルブ:9.5 タムロン:28.5	○	□	○	○	○	○	△	寒地~温暖地:○, +0~11℃(11℃他一年生雑草, マハイ, ヌルイ) 〔暖地:除草効果〕
56	DH-945 フロアブル 〔大日本インキ〕	ヒリフチカルブ:12	□	□	○	○	○	○	△	寒地~温暖地:○, +0~11℃(11℃他一年生雑草, マハイ, ヌルイ) 〔暖地:除草効果〕
57	SB-529-1kg 粒 〔エス・ディー・エス〕	タムロン:15 KPP-314:2	□	△	□	○	□	□	△	□ 〔除草効果〕
58	NSK-850 粒 〔徳山曹達〕	テニクロール:0.9	□	○	○					寒地・寒冷地:○, 植代後~-4, +0~11℃ (11℃他一年生雑草)
59	CH-904K-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900:2.1 DPX-84:0.3 DPX-47:0.06 DEH-112:1.5 タムロン:4.5	□	◎						寒地・寒冷地北部:○, +5~11℃(一発処理剤)
60	CH-904D-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900:2.1 DPX-84:0.51 DEH-112:1.5 タムロン:4.5			◎	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5~11℃(一発処理剤)
61	SB-530-1kg 粒 〔エス・ディー・エス〕	タムロン:21 テニクロール:2	□	◎	○	○	○	○	△	全域:○, +3~11℃ (11℃他一年生雑草, マハイ, ヌルイ) 〔暖地:ヌルイの効果〕
62	KUH-942-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	フレンチクロール:3 タムロン:15	○	◎	□ ? ○	○	○	○	△	全域:○, +0~11℃ (11℃他一年生雑草, マハイ, ヌルイ)

第2表 平成6年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
Ⅱ-1. 移植前土壌混和処理			CG-113乳, CGM-717077° <u>ℓ</u> , KPP-200507077° <u>ℓ</u> , RPC-208乳, TCG-128乳	RPJC-027077° <u>ℓ</u>		
Ⅱ-2. 移植前後土壌処理			CGM-717077° <u>ℓ</u> , KPP-200507077° <u>ℓ</u> , <u>X-52-1kg粒</u> , <u>YH-3-1kg粒</u> , <u>KUH-942-1kg粒</u>	MC-79-1kg粒, RPJC-027077° <u>ℓ</u> , SB-5287077° <u>ℓ</u>		
Ⅱ-3. 移植後土壌処理			TSR-1217077° <u>ℓ</u> , S-28粒, TSM-6127077° <u>ℓ</u> , SB-530-1kg粒, SL-9707077° <u>ℓ</u>	DH-9437077° <u>ℓ</u> , S-580-1kg粒, TH-5627077° <u>ℓ</u> , DH-9447077° <u>ℓ</u> , DH-9457077° <u>ℓ</u> , SB-529-1kg粒		
Ⅱ-4. 茎葉兼土壌処理			DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), HOK-05MN-1kg粒	HOK-05MN-1kg粒, MKS-245水和		
Ⅱ-5. 適用時期拡大			DEH-112乳(EW), DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), HOK-7505-1kg粒, NS-177粒	HOK-05MN-1kg粒, HOK-05MN-1kg粒, MKS-245水和		
Ⅱ-6-(1). クログワイ対象			DPX-84ND粒, DPX-84ND-1kg粒, DPX-84SC-1kg粒, NC-311HW粒	DEH・BAS乳(ME), DPX-47K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, TDS-8887077° <u>ℓ</u> , TDS-8887077° <u>ℓ</u>		
Ⅱ-6-(2). オモダカ対象			DPX-84ND粒, DPX-84ND-1kg粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84SC-1kg粒, KUH-883-1kg粒, NC-311HW粒	DEH・BAS乳(ME), DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, TDS-8887077° <u>ℓ</u> , TDS-8887077° <u>ℓ</u>		
Ⅱ-6-(5). シズイ対象			DEH・BAS乳(ME), DPX-47CGD-1kg粒, DPX-47K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84CG-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84T-1kg粒, KUH-883-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311SC-1kg粒, NC-311T-1kg粒	TH-913ADS-1kg粒, TH-913ADS-1kg粒		

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
II-6-(5). シズイ対象 つづき			NC-329-1kg粒, NSK-8557ロ 77°ル, TDS-8887ロ77°ル, TH- 913SN-1kg粒, TH-913ST7ロ 77°ル			
II-6-(6). エゾノサヤヌ カグサ対象			DEH・BAS乳(ME), DPX-47K -1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47 TD-1kg粒, DPX-84CG-1kg 粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX- 84T-1kg粒, KUH-883-1kg 粒, NC-311HW-1kg粒, NC- 311SC-1kg粒, NC-311T- 1kg粒, NC-329-1kg粒, NSK -8557ロ77°ル, TH-913HSK- 1kg粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913SSC粒, TH-913ST7ロ 77°ル, HSW-941-1kg粒	TDS-8887ロ77°ル, HSW-942 -1kg粒		
II-6-(7). クサネム対象				NSK-8557ロ77°ル		
II-6-(8). コウキヤガラ 対象			DEH・BAS乳(ME), DPX-47 CGD-1kg粒, DPX-47MN-1kg 粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX -47TD-1kg粒, DPX-84MN- 1kg粒, DPX-84MN-1kg粒 DPX-84SC-1kg粒, DPX-84 SC-1kg粒, DPX-84T-1kg 粒, DPX-84TD-1kg粒, NSK-8557ロ77°ル, TDS-888ロ 77°ル	TH-913SN-1kg粒		
III-1. 湛水直播			BAS-3510(Na)液, DEH- 112-1kg粒,	SW-HW-1kg粒		
III-2. 乾田直播			DEH-112乳(EW), DEH・BAS 乳(ME), KUH-883-1kg粒 KUH-911液	HW-932乳		
IV. 畦畔雑草			Hoe-866-3H水和, KUH-913 液, MON-93A液, SC-224液, ULV-03液, グリホサート液, グリ ホサート水溶			
V. 耕起前			BGX-816水溶, Hoe-86610 液, MW-851液, SC-224液, ULV-03液, SC-224液(不耕 起直播),	MW-851液(不耕起移植), SC-224液(不耕起移植)		

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
V. 耕起前	つづき		YF-65①液(不耕起移植), ケリサート液(不耕起移植), ケリサート液(不耕起直播)			
VII-1. 初期一発処理剤			DPX-47CGD-1kg粒, DPX-47 K-1kg粒, DPX-84CG①-1kg 粒, HSW-941-1kg粒, KPP- 9327077°N, KPP-932-1kg 粒, NC-311CG粒, NC-311CG -1kg粒, NC-311CG①-1kg 粒, NC-311HW-1kg粒, NC- 311KP-1kg粒, NSK-850D- 1kg粒, NSK-850D①-1kg粒 NSK-8557077°N, NSK-855① 7077°N, PSS①D粒, SKH- 8602①粒, SL-498-1kg粒, SL-9707077°N, TDS-88870 77°N, TDS-888①7077°N, TH-913ADS①粒, TH-913 ADS①-1kg粒, TH-913HSK -1kg粒, TH-913ST7077°N, NC-351粒	CHA-9407077°N, HJ-941- 1kg粒, NC-311KP①顆粒水 和		
VII-2. 初・中期一発処 理剤			AC-014E-1kg粒, AGH-925 -1kg粒, CH-904粒, CH-904 K-1kg粒, CH-904①粒, CH- 906粒, CH-906①粒, CH- 906①-1kg粒, CH-907-1kg 粒, CH-908-1kg粒, DPX-47 K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒 DPX-47ND-1kg粒, DPX-47 SC粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84 MN-1kg粒, DPX-84MN①粒, DPX-84MN①-1kg粒, DPX- 84ND粒, DPX-84ND①粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84 SC①-1kg粒, DPX-84TD① -1kg粒, KUH-883①粒, KUH- 883①-1kg粒, KUH-931- 1kg粒, KUH-936①-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, KUH-936 ①C-1kg粒, KUH-936C-1kg 粒, NC-311DCD粒, NC-311 DCD-1kg粒, NC-311HW粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311 SC①-1kg粒, NC-311T-1kg 粒, NC-329粒,	CH-904D-1kg粒, CH-94170 77°N, CH-941①7077°N, HJ-942-1kg粒, HJ-943- 1kg粒, HJ-944-1kg粒, HJ- 945-1kg粒, HJ-946-1kg粒 HSW-942-1kg粒, MK-243D- 1kg粒, MK-243D①-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, NBA-941 -1kg粒, NBA-942a-1kg粒, NBA-942b-1kg粒, NBA-943 -1kg粒, NC-363顆粒水和, NC-365-1kg粒, NC-366- 1kg, RYH-102-1kg粒, RYH- 1037077°N		

区 分	判 定	実	実・継	継	継 ?	中止
VII-2. 初・中期一発処理剤 つづき			NC-329-1kg粒, NC-345-1kg粒, NC-355顆粒水和, NCH-903DEH-1kg粒, TH-913ADE-1kg粒, TH-913SN粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913SSC粒, NH-9302-1kg粒			
VII-3-(1). 長期持続型一発処理剤			AC-014A粒, AC-014C-1kg粒	AC-014AⒶ粒		
VII-3-(2). 一年生持続型除草剤			CH-902-1kg粒	CHG-948-1kg粒, MSC-301-1kg粒		
VIII-1. 少量散布法			KUH-883Ⓐ-1kg粒, NC-311SCⒶ粒, SL-9707Ⓐ*ル			
VIII-2. 少量散布			TSR-1217Ⓐ*ル, NSK-850粒			

第3表 平成6年度水稲作除草剤ジャンボ剤適用性試験成績判定結果一覧

区 分	判 定	実	実・継	継	継 ?	中止
II-2. 移植前後土壌処理			CG-113, KPP-2005	RPJC-01		
II-3. 移植後土壌処理			AKD-7036			
II-5. 適用時期拡大			DEH-112			
II-6-(1). クログワイ対象			JC-940			
II-6-(5). シズイ対象			JC-940			
VII. 一発処理剤			NSK-850D, NSK-850DⒶ, SW-918Ⓐ, SW-918	CH-908, NC-353		
VII-3-(1). 長期持続型一発処理剤				AC-140, AC-014C		
VII-3-(2). 一年生持続型除草剤				AC-140Ⓐ		

注：1）本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2）本年度は「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。





Hoechst Schering AgrEvo KK

速くて、 しっかり

ダブル
W効果の除草剤

- 速く効く、長く効くバスタ
- 人、作物、土、環境に優しいバスタ
- なんでも枯らすバスタ ●使いやすいバスタ

バスタ[®]液剤

©: ヘキスト・シェーリング・アグレボ GmbHの登録商標

バスタ普及会 石原産業／日本農業／日産化学
 〈事務局〉ヘキスト・シェーリング・アグレボ株式会社 〒107 東京都港区赤坂4-10-33 ☎03(3585)9539

資料請求券





地球もイキイキ 元気に育て

ホクコーの主要除草剤

●初期一発処理剤

プッシュ[®]粒剤

スラッシャ[®]粒剤

クサメッツ[®]フロアブル

●初・中期一発処理剤

バトル[®]粒剤

レインジャー[®]粒剤

●初期除草剤

レトリ[®]フロアブル

ユニハープ[®]フロアブル

ブローグックス[®]乳剤

JAグループ

農 協 | 経済連 | **全農**



北興化学工業株式会社
 〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

農業会社は、日本農業の発展を願い、安全で効果の高い
 農業を創りおとどけています。

平成6年度水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和处理

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉マツバ	ホタルイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラモ タナ	クロダ ワイ	オモダ カ	トルン シロ	藻類剥 離	処理時期	使用 量・製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-1 1. CG-113 乳	土壌混和処理	北海道	○	○	○				○					植代時 (～4)	30～50 ml/a	1.5	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm	
		東北	○	○	○				○	○							○	○	○	○		
		北陸	○	○	○				○	○							○	○	○	○		
		関東 東山 南海	早	○	○	○			○								○	○	○	○		
		普	○	○	○			○									○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○	○	○			○								○	○	○	○		1
		普	○	○	○			○									○	○	○	○		
		四国	早	○	○	○			○								○	○	○	○		
		普	○	○	○			○									○	○	○	○		
		九州	早	○	○	○			○								○	○	○	○		
		普	○	○	○													●	●	○		○

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギ ヤフリ	ヘラモ ダナ	クロダ ワイ	オモダ ナ	トルン シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・製品	砂 壌 土 1.5	埴 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-1 2. CGM-71 70777777	土壌混和処理	北海道	○	○	○	○		○						播代時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm		
		東北	○	○	○	○	○									○	○	○	○				
		北陸	○	○	○	○	○									○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○	○	○	○										○	○	○	○			
			普	○	○	○	○										○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○	○	○	○	○										○	○	○		○	1
			普	○	○	○	○	●										○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○	○	○	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○	○	○	●										○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	1
			普	○	○	○	○	○	○									●	●	○	○	○	

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラモタナ	クロダワイ	オモダカ	トルンシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意			
Ⅱ-1 3. KPP-2005 (70777777)	土壌混和处理	北海道		●	●	●								植代時 (～4)	50 ml/a		●	●	●	2	混和時の水深 3～5cm			
		東北		●	●	●		●								●	●	●	1.5	2	混和深 2～3cm			
		北陸		●	●	●		●								●	●	●						
		関東 東山 東海	早																				2	1
			普	●	●	●		●														●		
		近畿 中国	早	●	●	●		●													●	●	●	1.5
			普	●	●	●		●											●	●	●	●		
		四国	早	●	●	●		●													●	●	●	1
			普	●	●	●		●											●	●	●	●	1.5	
		九州	早																					1
			普	●	●	●		●											●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ノビエ	広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラモタナ	クロダワイ	オモダカ	トルンシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-1 4. RPC-208 乳	土壌混和处理	北海道	○	○	○				○					植代時 (～4)	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	混和時の水深 3～5cm 混和深 2～3cm
		東北	○	○	○		○									○	○	○	○		
		北陸	○	○	○		○									●	●		○		
		関東東海	早	○	○	○		○								○	○	○	○		
		普	○	○	○		○									○	○	○	○		
		近畿中国	早	○	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	○	○	○		○									○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	○	○	○		○									○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	●	●	●											●	●	●	●		

II-1のつづき

II-1 5. RPJC-02 7077^gル 「継」

処理法	地域名	作 期	ハビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-1 6. TCG-128 乳	北海道	○	○	○				○					植代時 (〜4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3-5cm
	東北	○	○	○		○									○	○	○	○		
	北陸	○	○	○		○									○	○	○	○		
	関東 東山	早	○	○	○	○									○	○	○	○	1	
	東海	普	○	○	○	○									○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○	○	○	○									○	○	○	○	1	混和深 2-3cm
		普	○	○	○	○									○	○	○	○		
	四国	早	○	○	○	○									○	○	○	○		
		普	○	○	○	○									○	○	○	○		
	九州	早	○	○	○	○									○	○	○	○		
		普	○	○											○	○	○	○		

II-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作 期	ハビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 1. CGM-71 7077 ^g ル	北海道	○	上	○	○	始	○	始	○	始			+0〜+5 (ハビエ)	50 ml/a	●	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・ 関東〜 九州)
	東北	○	上	○	○	始	○	始	●	●	始				○	○	○	○		
	北陸	○	上	○	○	始	○	始	○						○	○	○	○		
	関東 東山	早	○	1	○	○	始	○	始	●	始				○	○	○	○		
	東海	普	○	1	○	○	始	○	始	●	始				○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○	上	○	○	始	○	始	○	始				○	○	○	○		水口処理 可能 (全残)
		普	○	上	○	○	始	○	始	●	始				●	○	○	○	1	
	四国	早	○	上	○	○	始	○	始	○	始				○	○	○	○	1.5	
		普	○	上	○	○	始	○	始	●	始				○	○	○	○	1	
	九州	早	●	1	●	●	始	●	始	●	始				○	○	○	○	1.5	
		普	○	上	○	○	始	○	始	○	始				○	○	○	○		

処理法	地域名	作 期	ハビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 2. KPP-2005 ^g 7077 ^g ル	北海道	○	1	○	○	始		●	始				植代後〜4, +0〜+3 (ハビエ)	50 ml/a	●	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・ 関東〜 九州)
	東北	○	1	○	○	始	○	始	○	始					○	○	○	○	1	
	北陸	○	1	○	○	始	○	始							○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	●	1	●	●	始	●	始						○	○	○	○		
	東海	普	●	1	●	●	始	●	始						○	○	○	○		
	近畿 中国	早	●	始	●	●	始	●	始						○	○	○	○		
		普	●	始	●	●	始	●	始				植代後〜4, +0〜+3 (ハビエ)	50 ml/a	○	○	○	○	1	
	四国	早	●	始	●	●	始	●	始						○	○	○	○	1.5	
		普	●	始	●	●	始	●	始						○	○	○	○	1.5	
	九州	早	●	始	●	●	始	●	始						○	○	○	○	1	
		普	●	始	●	●	始	●	始						○	○	○	○		

II-2 3. MC-79-1kg 粒 「継」

II-2 4. RPJC-02 7077^gル 「継」II-2 5. SB-528 7077^gル 「継」

II-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ネトルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモグカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 6.X-52-1kg 粒	北海道	● 1	●										+0~+5(/t・1L)	100 g/a	● 5	●	●	●	2	
	東北	●	●										+ 0		●	●	●	●	1.5	
	北陸	● 1	●										植代後~4. + 0 ~ + 5 (/t・1L)		●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ネトルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモグカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 7.YH-3-1kg 粒	北海道												+0~+3	100 g/a			●	●	1	
	東北	● 始	●												●	●	●	●	2	
	北陸	● 始	●																	
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●			● 始						+0~+5(/t・1L)				●	●	1	
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ネトルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモグカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 8.XUH-942-1kg 粒	北海道	● 1	●	● 始			● 始						植代後~4. + 0 ~ + 5 (/t・1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北	● 1	●	● 始	● 始	● 始									●	●	●	●		
	北陸	● 1	●	● 始	● 始	● 始									●	●	●	●		
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始	● 始	● 始								●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	● 1	●	● 始												●	●	1	
	四国	早 普	● 1	●	● 始											●	●	●		
	九州	早 普	● 1	●	● 始												●	●		

II-3 移植後土壌処理

II-3 1.DH-943 7077^g 粒 「継」

II-3 2.S-580-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ネトルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモグカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 3.TSR-121 7077 ^g 粒	北海道	○ 1.5	○	○ 始									+0~1/t・1.5L	50 ml/a	○ 1.5	○	○	○	2	(33) 時 田植同 散布可 (東北・ 関東~ 九州) 水口処理 可能 (全境)
	東北	○ 1.5	○	○ 始											○	○	○	○		
	北陸	○ 1.5	○	○ 始											○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○ 1.5	○	○ 2										○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1	
			○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1	
			○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1	
			○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	2	

II-3のつづき

II-3 4.YH-562 7077^μ 「継」II-3 5.DH-944 7077^μ 「継」II-3 6.DH-945 7077^μ 「継」

II-3 7.SB-529-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-3 8.S-28	粒 土壌処理	北海道	● 1	●										+0 ~ +5 (/t ² ±1L)	300 g/a		●	●	●	2	(1) (3)	
		東北	● 1	●														●	●			
		北陸	● 1	●										●		●	●	●				
		関東 東山 東海	早	● 1	●											●	●	●	1			
			普	○ 1	○												○	○	○	2		
		近畿 中国	早																			
			普	○ 1	○												○	○	○			
		四国	早																			
			普	○ 1	○												○	○	○			
		九州	早	○ 1	○											○	○	○	○	1		
			普	○ 1	○											○	○	○	○			

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネタリ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 9.TSM-612 7077 ^μ 土壌処理	北海道											+0 ~ +3	50 ml/a						2	初期剤とし て50ml/a 散布が可能
	東北	● 始	●	●												●	●			
	北陸	● 始	●	●										●	●	●	●			
	関東 東山 東海	早													●	●	●	●		
		普	● 始	●	● 始									●	●	●	●			
	近畿 中国	早																		
		普	● 始	●	●										●	●	●	1		
	四国	早																		
		普	● 始	●	●										●	●	●			
	九州	早																		
		普	● 始	●	●									●	●	●	●			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	タケノコ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
II-3 10.SB-530 -1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始					+ 0 ~ + 5 (/t ² ±1L)	100 g/a		●	●	●	2			
		東北	● 1	●	● 始		● 始	● 始							●	●	●					
		北陸	● 1	●	● 始		● 始								●	●	●	●				
		関東 東山 東海	早	● 1	●	● 始		● 始								●	●	●	●			
			普	● 1	●	●		● 始								●	●	●	●			
		近畿 中国	早																			
			普	● 1	●	● 始		● 始									●	●	●		1	
		四国	早																			
			普	● 1	●	● 始		● 始									●	●	●			
		九州	早												+ 3 ~ + 5 (/t ² ±1L)							
			普	● 1	●	● 始												●	●			

II-3のつづき

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌土	壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 11. SL-970 7077 ^ル	北海道											+0~+5 (/t ² 1L)	50 ml/a					初期利として 50ml/a 散布が可能
	東北																	
	北陸																	
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始									●	●	●	2	
	近畿 中国	早 普																
	四国	早 普																
	九州	早 普	● 1	●	● 始									●	●	●	1	

II-4 茎葉兼土壌処理

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-4 1. DEH-112 -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道	○ 3											/t ² 2 L ~ 3 L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	2	5 cm程度 の水深で 使用する (47)	
		東北	○ 3													○	○	○				
		北陸	○ 3													○	○	○				
		関東 東山 東海	早 普	○ 3 ○ 3												○ ○	○ ○	○ ○				
		近畿 中国	早 普	● 3 ○ 3												● ○	● ○	● ○				
		四国	早 普	● 3 ○ 3												● ○	● ○	● ○				
		九州	早 普	○ 3 ○ 3												○ ○	○ ○	○ ○				

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナメク シ	クリカ ワ	ミナ カ ワ	ハラ オモ タカ	クロ ガ ワ	オモ ダ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌土	壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-4 2. DEH・BAS 乳(ME)	基準 準 境 処理	北海道	○ 5	○	○ 4	○ 4		○ 4					/t ² 2L~5L	100 ml/a	● 1.5	○	○	2	{6} {10} {11} {12} 使用前 に希釈す る。	
		東北	○ 4	○	○ 3	● 4	● 5	● 4					/t ² 3 L	散布 10 t/a	○	○	○			
		北陸	○ 4	○	○ *	○ 5	○ 5						~ 4 L		○	○	○			
		関東 東山 東海	早	○ 3	○	○ 3	○ 3	○ 3					/t ² 2 L		○	○	○			
			普	○ 3	○	○ 3	○ 3	○ 3					~ 3 L		○	○	○			
		近 畿 中 国	早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4					増 殖 初 期 ~ 盛 期		/t ² 2.5 L		○	○		1.5
			普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4				~ 4.5 L			○	○	○			
		四国	早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○		
			普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○		
		九州	早	● 5	●	○ *		● 5							/t ² 2 L		●	●		●
普	○ 5		○	○ *	○ 5	○ 5						~ 5 L		○	○	○	1.5			

*花茎抽出始

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌土	壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-4 3. HOK-05MN -1kg 粒	北海道											+10~+14, /t ² 2L~3L	100 g/a					(8)
	東北																	
	北陸																	
	関東 東山 東海	早 普	● 3	●	● 3	● 3	● 3							●	●	●		
	近畿 中国	早 普																
	四国	早 普																
	九州	早 普																

II-4 5. MKS-245 水和 「継」

	処理方法	地域名	作期	1/ヒエ	年産 マメイ	89/94	94/97	ミマ カマ リ	ハラモ タマ	クロタ マ	オホタ マ	ヒメムシ ロ	漢製 剥離		処理時期	使用量 製品	砂土 1.5	壤土	埴土	埴土	減土 深 cm/d	使用上の 注意		
II-5 I. DEH-112 乳(EW)	主要養土壌処理	北海道		○ 5											+25~140 (/ヒ x2L~5L)	10 ml/a	●	○	○	○	2	(21) 使用直前 に希釈す る。		
		東北		○ 5												+25~140 (/ヒ x3L~5L)	散布 水 10 l/a 着加 利用	○	○	○	○			
		北陸		○ 5														○	○	○	○			
		関東	早	○ 5														○	○	○	○			
		東山	普	○ 5														○	○	○	○			
		南海	早	● 5															●	●	●		1	
		近中	普	○ 4.5														○	○	○	○		1.5	
		四国	早	● 5													+25~140 (/ヒ x2.5L~4.5L)		○	○	○		○	
			普	○ 4.5													+25~140 (/ヒ x3L~5L)		○	●	●		●	1
		九州	早	● 5													+25~140 (/ヒ x2.5L~4.5L)		○	○	○		○	1.5
普	○ 5														+25~150 (/ヒ x2L~5L)		●	●	●	●	2			

	処理法	地域名	作期	1/11	一年 広葉 マツノ イ	ナツノ イ	クリノ イ	ミズ ノ イ	アサ ノ イ	クワ ノ イ	オモ ノ イ	ヒメ ノ イ	藻類 ノ イ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
Π-5 2. DEH-112 -1kg 粒	喜楽第土壤処理	北海道	● 3											+15~+30, (7/11~2/13)	100 g/a	● 5	●	●	●	2	(2 1) (4 7)
		東北	● 3													●	●	●	●		
		北陸	● 3													●	●	●	●		
		関東 東山 海	早 普	● 3												●	●	●	●		
		近畿 甲園	早 普	● 3 ● 3												●	●	●	●	1.5	
		四国	早 普	● 3 ● 3												●	●	●	●		
		九州	早 普	● 3 ● 3												●	●	●	●	2	

	処理方法	地域名	作期	ハチ	一年 広葉 マツ	ナラ	クナギ	ミズ ナギ	ヘチ マ	クワ	モミ	ヒメ シロ	薄 葉 剥		処理時期	使用量 使用製品	砂 1.5	土	土	土	土	使用上の 注意
Ⅱ 3.	5-DEH-BAS 乳(WE)	北海道	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●***	+25~+40 (7℃~12L-5L)	100 ml/a	〇	〇	〇	2	(6) 10 1 2 1 2 3 6 4
			東北	〇	〇	〇	〇	●	●	●	●	●	●	●	●	●***	+25~+40 (7℃~13L-5L)	散水 7~10 l/a	〇	〇	〇	
Ⅱ 5-5-(5) Ⅱ 5-6-(8)	(5) (6) (8) を併用	関東 東北 山 東 海	早	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		+25~+50 (7℃~13L-5L)	〇	〇	〇	〇		
			普	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	
		近畿 中国	早	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	増殖 初期	+25~+40 (7℃~12.5L ~4.5L)	〇	〇	〇	〇	1	
			普	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七期		〇	〇	〇	〇	1.5
		四国	早	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●盛期		〇	〇	〇	〇	1	
			普	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●盛期		〇	〇	〇	〇	1.5
		九州	早	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	コヤナギ ●盛	+25~+50 (7℃~12L-5L)	〇	〇	〇	〇	2	
			普	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇		

- * : 花茎抽出始
- ** : シズイ 草丈5cm程度 , コキヤカラ 発生盛期
- *** : イソノササガサ 発生始～2 L

Π-5 5. HOK-05MNC-1kg 粒 「継」

II-6-(2) オモグカ対象

II-6-(2) 1. DEH・BAS 乳(WE) 「継」

II-6-(2) 2. DPX-47MN-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 3. DPX-47ND-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 4. DPX-47SC-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 5. DPX-47TD-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 6. DPX-84MN $\odot$ -1kg 粒 「継」

II-6-(2) 7. DPX-84ND 粒 「実・継」 VII-2 No. 23 参照

II-6-(2) 8. DPX-84ND $\odot$ 粒 「実・継」 VII-2 No. 24 参照

II-6-(2) 9. DPX-84SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 25 参照

II-6-(2) 9. DPX-84SC $\odot$ -1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 26 参照

II-6-(2) 11. KUH-883-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ハエ	年 広葉 マツハ	ササ	クリ	ミズ ア	ハナ ア	クロ ア	オモ カ	ヒメ シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 ・ 製品	砂 土	土	土	土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 KUH-883-1kg 粒 II-6-(2) II-6-(5) II-6-(6) を併用	茎葉土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2		○2				○発生	○前	○再 生 前 始	○*	+0~1/t ² L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (38) (40) (42)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	○**	+0~1/t ² x2.5L		○	○	○			北海道の 北砂土は +0を 東に及 すを 除く	
		北陸														*:1/2t ² x2.5L *:1/2t ² x2.5L *:1/2t ² x2.5L 発生始~ 草丈3cm							+0 の 土 主
		関東 東山 東海	早 普																				
		近 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				

II-6-(2) 12. NC-311HW 粒 「実・継」 VII-2 No. 50 参照

II-6-(2) 13. NC-311HW-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 14. TDS-888 7077th 「継」II-6-(2) 15. TDS-888 $\odot$ 7077th 「継」

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5) 1. DEH・BAS 乳(WE) 「実・継」 II-5 No. 3 参照

II-6-(5) 2. DPX-47CGD-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No. 2 参照

II-6-(5) 3. DPX-47K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 14 参照

II-6-(5) 4. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 15 参照

II-6-(5) 5. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 18 参照

II-6-(5) 6. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 19 参照

II-6-(5)のつづき

II-6-(5) 7. DPX-84CG-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-1の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラモ ダナ	クロガ ワイ	ネモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 100 g/a	壌土	壌土	壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 DPX-84CG-1kg 粒 を併用	北海道	○2	○	○2	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○再生 前 始	●* +5~ /t・x2L	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
	東北	○2	○	○2	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○再生 前 始	●* +5~ /t・x2L	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
	北陸													※:ソノノサヤヌカサ 2L ※*:ソノノ 2)ソノノサヤ 2)ソノノサヤ	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

II-6-(5) 8. DPX-84MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.20 参照

II-6-(5) 9. DPX-84SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.25 参照

II-6-(5) 10. DPX-84T-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラモ ダナ	クロガ ワイ	ネモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 100 g/a	壌土	壌土	壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-84T-1kg 粒 を併用	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○再生 前 始	●* +5~+20 /t・x2.5L +5~/t・x2.5L	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (36) (38) (42)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○再生 前 始	●* +5~+20 /t・x2.5L +5~/t・x2.5L	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (36) (38) (42)
	北陸													※:ソノノサヤヌカサ 2L ※*:ソノノ 2)ソノノサヤ 2)ソノノサヤ	100 g/a	○5	○	○	○	2	(26) (28) (36) (38) (42)
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

II-6-(5) 11. KUH-883-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) II-6-(2) No.11 参照

II-6-(5) 12. NC-311HW-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.51 参照

II-6-(5) 13. NC-311SO-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.52 参照

II-6-(5) 14. NC-311T-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.53 参照

II-6-(5) 15. NC-329-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.55 参照

II-6-(5) 16. NSX-855 フロアブル 「実・継」 VII-1 No.17 参照

II-6-(5) 17. TDS-888 フロアブル 「実・継」 VII-1 No.23 参照

II-6-(5) 18a. TH-913ADS-1kg 粒 「継」

II-6-(5) 18b. TH-913ADS-1kg 粒 「継」

II-6-(5) 19. TH-913SN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.67 参照

II-6-(5) 20. TH-913ST フロアブル 「実・継」 VII-1 No.28 参照

II-6-(6) エゾノサヤヌカサ対象

II-6-(6) 1. DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 II-5 No.3 参照

II-6-(6) 2. DPX-47X-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No.3 参照

II-6-(6) 3. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.15 参照

II-6-(6) 4. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.18 参照

II-6-(6) 5. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.19 参照

II-6-(6) 6. DPX-84CG-1kg 粒 「実・継」 II-6-(5) No.7 参照

Ⅱ-6-(6)のつづき

Ⅱ-6-(6)	7.DPX-84MN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 20	参照
Ⅱ-6-(6)	8.DPX-84T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(5) No. 10	参照
Ⅱ-6-(6)	9.KUH-883-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(2) No. 10	参照
Ⅱ-6-(6)	10.NC-311HW-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 51	参照
Ⅱ-6-(6)	11.NC-311SC ^① -1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 52	参照
Ⅱ-6-(6)	12.NC-311T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 53	参照
Ⅱ-6-(6)	13.NC-329-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 55	参照
Ⅱ-6-(6)	14.NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 17	参照
Ⅱ-6-(6)	15.TDS-888	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(6)	16.TH-913HSK-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 27	参照
Ⅱ-6-(6)	17.TH-913SN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 67	参照
Ⅱ-6-(6)	18.TH-913SSC	粒	「実・継」	VII-2 No. 68	参照
Ⅱ-6-(6)	19.TH-913ST	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 28	参照
Ⅱ-6-(6)	20.HSW-941-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 6	参照
Ⅱ-6-(6)	21.HSW-942-1kg	粒	「継」		
Ⅱ-6-(7)	クサネム対象				
Ⅱ-6-(7)	1.NSK-855	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(8)	コウキヤガラ対象				
Ⅱ-6-(8)	1.DEH-BAS	乳(ME)	「実・継」	Ⅱ-5 No. 3	参照
Ⅱ-6-(8)	2.DPX-47CGD-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 2	参照
Ⅱ-6-(8)	3.DPX-47MN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 15	参照
Ⅱ-6-(8)	4.DPX-47SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 18	参照
Ⅱ-6-(8)	5.DPX-47TD-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 19	参照
Ⅱ-6-(8)	6.DPX-84MN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 20	参照
Ⅱ-6-(8)	7.DPX-84MN ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 22	参照
Ⅱ-6-(8)	8.DPX-84SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 25	参照
Ⅱ-6-(8)	9.DPX-84SC ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 26	参照
Ⅱ-6-(8)	10.DPX-84T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(5) No. 10	参照
Ⅱ-6-(8)	11.DPX-84TD ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 27	参照
Ⅱ-6-(8)	12.NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 17	参照
Ⅱ-6-(8)	13.TDS-888 ^①	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 24	参照
Ⅱ-6-(8)	14.TH-913SN-1kg	粒	「継」		

Ⅲ-1 落水直播

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-1 1. BAS-3510 (Na) 液	北海道			●	● 4	● 4		● 4					+ 3.5 ~ 5.0	50~70 ml/a	●	●	●		(10) (11) (12) (21)
	東北			●	● 4										●	●	●		
	北陸			●	● 4										●	●	●		
	関東 東海	早 普		●	● 4	● 4									●	●	●		
	近畿 中国	早 普		●	● 4	● 4	● 4		● *							●	●		
	四国	早 普		●	● 4	● 4	● 4		● *							●	●		
	九州	早 普		●	● 4	● 4	● 4								●	●	●		

* : 発生盛期 15 ~ 30 cm

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅲ-1 2. DEH-112 -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道		○ 3												ノビエ 2 L ~ 3 L	100 g/a		○	○	○	2	5 cm 程度 の水深で 使用する (47)		
		東北		○ 3																○	○	1			
		北陸		○ 4													ノビエ 2 L ~ 4 L	100 ~ 150 g/a			○	○			
		関東 東海	早															(3.5 L 以上 の時は 150 g/a)	○	○	○	○		2	
		普	○ 4																	○	○	○			
		近畿 中国	早																		○	○		○	1
		普	○ 4																		○	○		○	
		四国	早																		○	○		○	
		普	○ 4																		○	○		○	
		九州	早														ノビエ 2 L ~ 3 L	100 g/a		○	○	○		○	
普	○ 3																	○	○	○	○				

Ⅲ-1 3. SW-BW-1kg 粒 「継」

Ⅲ-2 乾田直播

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳(EW)	北海道												ノビエ 3 L ~ 5 L (入水前)	10 ml/a (86 g/a) 7~10 l/a (86g/a 継続期)			○	○	使用前 に希釈す る。
	東北		○ 5														○	○	
	北陸		○ 5										ノビエ 2 L ~ 5 L (入水前)				○	○	
	関東 東海	早 普															○	○	
	近畿 中国	早 普	○ 5													○	○	○	
	四国	早 普	○ 5													○	○	○	
	九州	早 普	● 3										ノビエ 2 L ~ 3 L (入水前)					●	

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ	ハラオモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 2. DEH-BAS 乳(ME)	北海道												ノビエ 3 L ~ 4.5 L (入水前)	100 ml/a (86 g/a) 7~10 l/a			○	○	使用前 に希釈す る。
	東北		○ 4.5	●													○	○	
	北陸		○ 4	●									ノビエ 2 L ~ 4.5 L (入水前)				○	○	
	関東 東海	早 普															○	○	
	近畿 中国	早 普	○ 4.5	○			○									○	○	○	
	四国	早 普	○ 4.5	○			○									○	○	○	
	九州	早 普	● 3	●									ノビエ 2 L ~ 3 L (入水前)					●	

Ⅲ-2のつづき

Ⅲ-2 3. HW-932 乳 「継」

処理法	地域名	作期	ハビエ	一年 広葉 マフハイ	ホタハ	ウリカ	ミヌ ヤ クリ	ハラモ タカ	クロク ワイ	オモサ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上 の 注意		
Ⅲ-2 4. KUH-883D -1kg 粒 茎葉素 土壌処理	北海道												入水後 3 日 〜/t: 12.5 L	100 g/a					2	水持ちの安定 した後に使用 する	
	東北																				
	北陸																				
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2											○	○	○			
	四国	早 普	○2.5	○	○2												○	○	○		
	九州	早 普	●2.5	●															●		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉	ホタルイ	クリカワ	ミズカマヅ	ヘラオモダ	クロガシ	オモダ	ヒルシロ	藻類剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意		
Ⅲ-2 5. KUH-911 液	茎葉処理	北海道													1/2エ3L～5L (入水前)	10～ 20 ml/a						処理後黄化 状態がみられ る場合がある		
		東北		●5	●																			
		北陸																						
		関東・東山 東海	早																					
		近畿 中国	早																					
			普	●5	●															●	●		●	
		四国	早																					
			普	●5	●															●	●		●	
		九州	早																					
			普																					

Ⅳ 畦畔雑草

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 1. Hoe-866-3B 水和 茎葉処理	北海道						
	東北	○	全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50〜75g/a	全土壌	{23} {24}
	北陸	○					
	関東・東山・東海	○					
	近畿・中国	○					
	四国	○					
	九州	○					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 2. KUH-913 液 茎葉処理	北海道						
	東北	●	全草種 (草種により効果の変 動がある)	草刈り後10〜20日 の雑草再生期 (6〜7月)	40〜50ml/a (10 0/a)	全土壌	イネ科主体の群落で使 用する(東北、北陸)
	北陸	●					
	関東・東山・東海	●		雑草生育初期 (草丈10cm程度)	30〜50ml/a (10 0/a)*		*約45日の間隔で40+40 ml/aの体系で雑草期間 を延長(関東〜東海)
	近畿・中国	●					{24}
	四国	●					
	九州						

IVのつづき

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 3. MON-93A 液	茎葉処理	北海道	全草種 (スギナを除く)	雑草生育期	25~50 ml/a (10l/a) (東北は、50ml/a) 少量散布：希釈水量2.5l/a でも有効。専用の散布ノズルを用いる。 (北海道、関東~東海)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 4. SC-224 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20~40ml/a(10l/a) 少量散布：10倍液500~600ml/aでも有効。専用の散布ノズルを用いる。 (東北、九州は10倍液400ml/a拡大可能)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 5. ULV-03 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	原液散布： 300~500ml/a 専用の散布機を用いる	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 6. グリネート 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期~積雪期	一年生：25~50ml/a (10l/a) 多年生：75~100ml/a (10l/a) 少量散布： 25ml/aでは希釈水量2.5l/a でも有効。 専用の散布機を用いる。 10倍液500~600ml/a(東北では400~600ml/a)でも有効。 専用の散布ノズルを用いる。	全土壌	(23) (24)
		東北		雑草生育期			
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 7. グリネート 水溶液	茎葉処理	北海道	全草種	雑草生育期	30~50g/a(10l/a) 少量散布： 希釈水量2.5l/aでも有効 専用の散布機を用いる	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

V 耕起前

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

従来の使用量 40~60g/a(10t/a)

	処理法	地 域 名 ※		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1. BGX-816 水溶	水溶処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	25～50g/a(10ℓ/a)*	全土壌	(25) *少量散布: 希釈水量2.5ℓ/a でも有効。専用の 散布ノズルを用いる。 (東北・北陸 関東～東海)
		東北	○					
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					
				雑草生育期 耕起前10日以前				

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 2. Hoe-86610 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前20～10日	40～75ml/a(10t/a) 25ml/a(2.5t/a)も有効 但し専用の散布ノズルを用いる	全土壌	(25)
		東 北					
		北 陸		○			
		関東・東山・東海		○			
		近畿・中国		○			
		四 国		○			
		九 州		○			
				雑草生育期 耕起前20～10日	40～75ml/a(10t/a)		

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意	
V 3. MW-851 液	薬液処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前 10 日以前	5 0 ～ 7 5 ml/a(10l/a)*	全土壌	*少量散布： 希釈水量2.5ℓ/a でも有効。専用の 散布ノズルを用いる。 (北陸、関東～東海)	
		25～50ml/a(10l/a)*						
		東 北 ○		雑草生育期 耕起前15日以前	5 0 ～ 7 5 ml/a(10l/a)			
		北 陸 ○						
		関東・東山・東海 ○						
		近畿・中国 ○						
		四 国 ○						
九 州 ○								

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意	
V 4. SC-224 液	業者処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	60～75ml/a(2.5t/a)	全土壌	(25) *希釈水量2.5ℓ/a でも有効。 専用の散布ノズル を用いる。 (関東～東海、九州)	
		東 北						●
		北 陸						●
		関東・東山・東海		●	雑草生育期 耕起前40～20日			40～75ml/a(10t/a)*
		近畿・中国		○				
		四 国		○				
		九 州		○				

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 5. ULV-03 液	葉面処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 耕起前7日まで	400～500ml/a 原液散布：専用の散布機を用いる	全土壌	(25)
		東 北	●					
		北 陸	●					
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国	●					
		四 国	●					
		九 州						

不耕起栽培(移植) 6. MW-851 液 「継」

不耕起栽培(移植) 7. SC-224 液 「継」

不耕起栽培（直播）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
8.SC-224 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 播種前7日～播種直後	40ml/a (10ℓ/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州	●				

不耕起栽培（移植）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
9.YF-65① 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	灌水前10～5日	100ml/a (40ℓ/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

不耕起栽培（移植）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
10.ケリホサート 液	茎葉処理	北海道	移植前全雑草	灌水前30～5日	50ml/a(5ℓ/a)*	全土壌	(25) *希釈水量2.5ℓ/a でも有効 専用の散布ノズル を用いる (東北、関東～東海)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

不耕起栽培（直播）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
11.ケリホサート 液	茎葉処理	北海道	播種前全雑草	雑草生育期 播種前30～5日	50ml/a(5ℓ/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海			50ml/a(2.5ℓ/a)専用の散布ノズルを用いる		
		近畿・中国			50ml/a(5ℓ/a) 希釈水量2.5ℓ/aでも有効 専用の散布ノズルを用いる (九州)		
		四 国					
		九 州	●	雑草生育期 播種前10日～播種直後			

VII-1 初期一発処理剤

VII-1 1. CHA-940 プロアール 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類剥離	処理時期	使用量 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水深 cm/d	使用上の 注意		
VII-1 2. DPX-47CGD -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(8) を併用	土壌処理剤	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+3~ 1.5L *:シノイ 発生後~取3cm	100 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (36) (40)	
		東北		○1.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○前	○再生前		●	○	○	○	1			
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○再生前	●	○	○	○	2		
		関東 東山	早	○1.5	○	○始	○始	●始					●発生期	○前		○再生前	○	○	○	○			
		近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●前		●再生前	○	○	○	○			
			普	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○再生前	●	○	○	○			
			早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●前		●再生前	○	○	○	○	1		
			普	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●前		●再生前	●	○	○	○	2		
		四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●前		●再生前	●	○	○	○	1		
			普	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●前		●再生前	●	○	○	○	2		
		九州	早	●1.5	●	●2	●2	●2					●発生期	○前		○再生前	ワキナラ		●	○	○		
			普	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○再生前	●始		○	○	○	1.5	

VII-1 3. DPX-47K -1kg 粒	処理法 土壌処理剤	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	水 減 深 cm/d	使用上の 注意	
II-6-(6) を併用	土壌処理剤	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前 開始	+5~ /t ² 2L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28)
		東北																				
		北陸																				
		関東 東山	早																			
		近畿 中国	早																			
			普																			
			早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
九州	早																					
		普																				

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離		処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 4. DPX-84CGD -1kg 粒	土壌処理剤	北海道												再生前	*北陸の砂壌土は15以上+3~7t ² 12L	100 g/a						{26 34 84 98}			
		東北											発生期	前		再生前									
		北陸		○2	○		○2	○2	○2	○2		○始	○期	○前		○始			*	○	○		○	2	
		関東 東山	早	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	再生前			○	○		○	○	
		近畿 中国	早	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	再生前				○		○	○	
			普	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	○始				○		○	○	
		四国	早	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	再生前				○		○	○	
			普	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	再生前				○		○	○	
		九州	早	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	再生前				○		○	○	
			普	○2	○		○2	○2	○2	○2				○発生期		○前	○始				○		○	○	

VII-1 5. HJ-941-1kg 粒 「継」

		処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダカ	クロクワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離		処理時期	使用量 ・製品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 6. HSW-941 -1kg 粒 II-6-(6) を併用	土壌 処理 剤	北海道 東北 北陸 関東 東山 東海 近畿 中国 四国 九州	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前		●*	+5~ /t ² 2L	100 g/a	●	●	●	2		
			東北																					
			北陸																					
			関東 東山	早																				
			東海	普																				
			近畿 中国	早																				
				普																				
				早																				
				普																				
			四国	早																				
				普																				
			九州	早																				
	普																							

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ タカ	クログ ワイ	オモガ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 7. KPP-932 7077 ^粒	土壌処理剤	北海道	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	+0~1/2 ¹ 1.5L	50 g/a	●	●	●	●	2	均一散布
		東北	早	●1.5	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1	田植同時 散布可能 (東北、 関東~九州)
		北陸	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2						●再生 前			●	●	●	2	
		関東 東山	早	●1.5	●	●2	●	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前				●	●		
		東海	普	●1.5	●	●2	●	●始	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●		
		近畿 中国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1	{ 28 } { 34 }
		普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1.5		
		四国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1	
		普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1.5		
		九州	早	●1.5	●	●2	●	●2					●発生 期						●	●	1	
		普	●1.5	●	●2	●	●2					●発生 期							●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ タカ	クログ ワイ	オモガ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 8. KPP-932 -1kg 粒	土壌保肥剤	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2				発生 期	●前	●再生 前	+0~1/2±1.5L	100 g/a	●	●	●	2	田植同時 散布可能 (東北、 関東~九州) (28) (34)	
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2				発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	1		
		北陸		●1.5	●	●2	●2	●2	●2	●2					●再生 前			●	●	●	2		
		関東 東山 東海	早	●1.5	●	●2		●始					発生 期	●前	●再生 前			●	●	●			
			普	●1.5	●	●2	●始	●2					発生 期	●前	●再生 前				●	●			
		近畿 中国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始				発生 期	●前	●再生 前				●	●	1		
			普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	1.5		
		四国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始				発生 期	●前	●再生 前				●	●	1		
			普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	1.5		
		九州	早	●1.5	●	●2		●2					発生 期					●	●	●	●		1
			普	●1.5	●	●2		●2					発生 期					●	●	●			

処理法	地域名	作期	ノヒエ	広葉 マツハイ	ネグロイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ タカ	クログ ワイ	オモガ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	セリ	エノヤサ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 9. NC-311CG 粒	土壌処理剤	北海道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+0	300 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (36) (38) (40) (44)
		東北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	(28) (36) (38) (40) (44)
		北陸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	(28) (36) (38) (40) (44)
		関東	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	(28) (36) (38) (40) (44)
		東山	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	(28) (36) (38) (40) (44)
		東海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	(28) (36) (38) (40) (44)
		近畿	早	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	+5	2	●	●	●	1	土を除く
		中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	田植同時 散布可能 (東北)
		四国	早	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	+5	2	●	●	●	1	土を除く
		九州	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	2	○	○	○	○	田植同時 散布可能 (東北)

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東・東山・東海）
オモガカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東・東山・東海）
コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）

	処理法	地域名	作期	ノビエ 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミズ・ カヤ	ヘラオモ タカ	クログ ワイ	オモガ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-1 10. NC-311CG -1kg 粒	土壌 改良剤	北海道	早	○2	○	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前	+0~1/2 ² 2L	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (36) (38) (40) (42)		
		東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○始	○始	○	○前	○前			○	○	○	○				
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○始		+0~1/2 ² 2L	○	○	○	○			
		関東 東山	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前				○	○	○	○		
		東海	普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○前	○前				○	○	○	○		
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始		+3~1/2 ² 2L		●	●	●	1	田植同時 散布可能 (東北)	
			普	●2	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前				●	●	●			
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前				●	●	●			
			普	●2	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始				●	●	●			
		九州	早																				
	普																						

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2エ	年 広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤ	アヲモタカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量 製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 11. NC-311CG ①-1kg 粒	土壌処理剤	北海道														100 g/a						(26) (28) (34)	
		東北																					
		北陸																					
		関東	早																				
		東海	普																				
		近畿	早	○1.5	○	○始	○始	○2					発生	○前	○再生前 ○始		+5～/ト ¹ 1.5L		○	○	○		1
			普	○1.5	○	○始	○始	○2					○期	○前			+3～/ト ¹ 1.5L		○	○	○		
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○2					発生	○前	○前		+5～/ト ¹ 1.5L		○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○2					○期	○前			+3～/ト ¹ 1.5L		○	○	○		
		九州	早	○1.5	○	○始	○始	○2					発生	○前	○期		+5～/ト ¹ 1.5L		○	○	○		1.5
			普	○1.5	○	○始	○始	○始					○期				+3～/ト ¹ 1.5L	○1	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノビエ 広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤ ツリ	ヘラモタカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用製品	砂壌土 1.5 g/a	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意	
VII-1 12. NC-311HP -1kg 粒	土壌処理剤	北海道	○2	○	○2	○2		○2			○	○前	再生前	+ 5 ~ /t 2 L	100 g/a	○	○	○	2	(28) (34)	
		東北	○2	○	○2		○2				○	○前	再生前			●	●	○			
		北陸	○2	○	○2	○2	○2				○	○前	開始			○	○	○			
		関東	早	○2	○	○2	○2	○2				発生	○前			再生前	○	○	○		
		東海	普	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			再生前	○	○	○		
		近畿	早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			再生前	○	○	○		1
		中国	普	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			開始	○	○	○		1.5
			早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			開始	○	○	○		1
		四国	普	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			再生前	○	○	○		1.5
			早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前			開始	○	○	○		1.5
VII-2 No. 51 に併用		九州	早	●2	●	●2	●2	●2			●	発生	開始	●	●	●	●	1			
			普	○2	○	○2	○2	○2				○	○前	開始	○	○	○	1.5			

	処理法	地域名	作期	処理時期												使用上の注意								
				1/2エ	広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤ	ヘラモタカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	再生前	再生前									
VII-1 13. NC-311KP -1kg 粒	土壌処理剤	北海道	●1.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+0 ~ /t 1.5 L	100 g/a	1.5	●	●	●	2	{ 2 8 } { 3 4 }			
		東北	●1.5	●	●始	●始	●始					●期							●	1.5				
		北陸	●1.5	●	●2	●2	●始										●始					2		
		関東	早									●発生期					●再生前							
		東海	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生期	●前				●再生前		●	●		●		
		近畿	早									●発生期					●再生前							
		中国	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生期					●再生前			●		●	●	1
		四国	早									●発生期					●再生前					●	●	
			普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生期					●始					●	●	●
		九州	早																				●	●
	普	●1.5	●	●始		●2										●	●	●						

VII-1 14. NC-311KP① 顆粒水和 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツ ハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ ダ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	再生 前 始	処理時期	使用 量 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 15. NSK-850D -1kg 粒	土 壌 処 理 剤	北海道	○2	○		○2	○2		○2			○	○前	○再生 前 始	+ 5 ~ 15 2 L	100 g/a	●	○	○	○	2	(2 8)	
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○期	○前				●	○	○			
		北陸																					
		関東	早																				
		東海	普																				
		近畿	早																				
		中国	普																				
			早																				
		四国	普																				
			早																				
	九州	普																					

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉ツバ	本林	クリ	ミカヅリ	ヘチマダ	クロワ	オモナ	ヒルシ	漢葉剥	類屑		処理時期	使用量 製品	砂塚	壤土	埴土	埴土	水深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 16.	土 ①-1kg 粒 土処理剤	北海道 東北 北陸													セリ	+5~ 1/2×2 L	100 g/a						(28) (34)	
		関東 東山 南海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	● ○	○ ○					○ ○	● ○	前 前		再 ○	○ ○	● ○	○ ○	○ ○	○ ○	2 1.5	
		近中 畿中	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○					○ ●	○ ○	○ ○		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1	
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○					○ ●	○ ○	○ ○		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
		九州	早 普	● ○	● ○	● ○	● ○	● ○					● ○	○ ○	○ ○		○ ○	○ ○	○ ○	● ○	● ○	● ○	● ○	

[illegible]

	処理方法	地域名	作期	1年 一広業 マナハ	ホウダ	ウリダ	ミズ クリ	ハナダ ダナ	クロダ ダ	オキダ ダ	ヒムシ ロ	藻類 腐層	処理時期	使用 食品 製品	砂 土	塩 土	堆 土	埋 土	水深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 18. NSK-855① 7077 号	土壌処理剤	北海道										再生 前		50 ml/a						{ 3 4 } { 3 1 } { 4 2 }
		東北										●発生 期	○前						2	水口処理 可能 (北陸、九州 近畿～四国)
		北陸	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2			○ 始	●発生 期	○前	○ 始	+0～/ト ² L		○	○	○	○	2
		関東 東北	早 普	○ 2 ○ 2	○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2			○ 始	○ 期	○前	○ 始	+0～/ト ² L +5～/ト ² L	○	○	○	○	○	水口処理 可能 (北陸、九州 近畿～四国)
		畿中	早 普	○ 2 ○ 2	○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2			○ 始	●発生 期	○ 期	○ 始	+0～/ト ² L		○	○	○	○	1
		四国	早 普	○ 2 ○ 2	○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2			○ 始	●発生 期	○ 期	○ 始		○	○	○	○	○	1
		九州	早 普	○ 2 ○ 2	○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2			○ 始	○ 期	○ 期	○ 始	+5～/ト ² L	○	○	○	○	○	+0は砂塩土 を除く (砂塩土は +5～/ト ² L)

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～九州）

	処理法	地域名	作期	1/1	一年 広葉 マダニ	ネナリ	ナリナ	ミナ ガリ	アサ ナ	コサ ナ	モサ ナ	ヒル シ	藻類 類菌類	処理時期	使用 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	埴 土	減土 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-19. PSSD 粒	土壌保殖剤	北海道													300 g/a						{ 1 3 } { 3 4 }		
		東北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期	0期	○	○	○	○	2			
		北陸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0期	○	○	○	○			
		関東山 東海	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期	0期	○	○	○	○			*10は埴土～ 埴土(砂 土)は+3～ +12L
			普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0期	○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期	0期	○	○	○	○			*10は埴土 を は+3～ +12L
			普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0期	○	○	○		1	
		四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期	0期	○	○	○	○		1	
			普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0期	○	○	○	○		1.5	
		九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期	0期	○	○	○	○		1	
			普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0期	○	○	○	○		1.5	

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年葉 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ フリ	ハラオモ ダ カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 20. SKH-8602 粒	土壌処理剤	北海道		○2	○	○2	○始		○2			○発生 期	○前	○始 ～2L	300 g/a	○	○	○	○	2	(33) (26) (34) (38) (40) (41) (42)			
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期		○始 ～前			○	○	○	○				
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2					○再 生 前 始				○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○始	○2					○発生 期	○前		○再 生 前 始		○1	○	○		○	1.5	
			普	○2	○	○2	○始	○始		○始	○始	○期	○前	○再 生 前 始				○	○	○		○	2	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前		○始			○	○		○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期		○			○	○	○	○		○		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前		○再 生 前 始			○	○		○		
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期		○再 生 前 始			○	○	○	○		○		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前		○再 生 前 始		○	○	○		○		
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○期		○			○始			●	○		○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東～九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、近畿・中国・四国）

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 葉刈	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ フリ	ハラオモ ダ カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シ ロ	藻類 剥離								処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意				
VII-1 21. SL-498 -1kg 粒	土壌 処理剤	北海道												+ 0 ~ 1t±2L	100 g/a														(1 3) (3 4)			
		東北	○ 2	○	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始				○ 発 生 期	○ 前					○	○	○	○	2										
		北陸	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2						○ 前							○	○	1										
		関東 東山 東海	早 普	○ 2 ○ 2	○ ○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2						○ 前 ○ 前					○ 1	○	○	○	1.5 2										
		近 畿 中 国	早 普	○ 2 ○ 2	○ ○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2	○ 2				○ 発 生 期	○ 前 ○ 前						○	○	○	1 1.5										
		四 国	早 普	○ 2 ○ 2	○ ○	○ 2 ○ 2	○ 2 ○ 2	○ 2				○ 発 生 期	○ 前 ○ 前						○	○	○	1 1.5										
		九 州	早 普	● 2 ○ 2	● ○	● 2 ○ 2	● 2 ○ 2						● 前 ○ 前						○	○	○	○	1 1.5									

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ フリ	ハラオモ ダ カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 22. SL-970 7077°N	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期		+3～1.5L	100 ml/a	○1.5	○	○	○	○	2	(33) (34) 水口処理 可能 (全残)
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		+3～2L		○	○	○	○			
	北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○			
	関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○1	○	○	○			
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○			
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○	1		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○	1.5		
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○	1		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○	1.5		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期				○	○	○	○	1		
		普	○2	○	○2	○2	○2				●期				○	○	○	○	1.5		

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ フリ	ハラオモ ダ カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-6-(5) を併用	土壌処理剤	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	+0～ 1.5L	50 ml/a	○1.5	○	○	○	○	2	(33) (28) (40) 水口処理 可能 (北海道、 東北) 田植同時 散布可能 (東北)
		東北		○1.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生 期	○前			○	○	○	○			
		北陸												○再 生 前 始								
		関東 東山 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

VII-1のつづき

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリウリ	ミヤカサリ	ヘラオモダカ	クログイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 24. TDS-888 7077g II-6-(8)を併用	北海道											発生期	再生前	+0 ~ 1.5L (関東~東海期 の10は、早期 土を除く)	50 ml/a						(3) (33) (34) (36) (41)
	東北											発生期	再生前								水口処理 可能 (北陸~ 四国、九州)
	北陸	早	○1.5	○	○2	○始	○2					○	○前			○	○	○	○	2	
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○	1.5	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○	○前			○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (関東~九州)
		普	○1.5	○	○2	○始	○2					●	○			○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○始	○2					●	○			○	○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○	1.5	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2					○	○	●		○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリウリ	ミヤカサリ	ヘラオモダカ	クログイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 25. TH-913ADS ① 土壌処理剤	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2				○	○前	+3 ~ 1.5L	300 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34)
	東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始				○	○前			●	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始	○始				○	○前			●	○	○	○		
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2					●	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2					●	○前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始					●	○前			○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始					●	○前			○	○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○	○2	●2	○2					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2					○	○前	●		○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリウリ	ミヤカサリ	ヘラオモダカ	クログイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 26. TH-913ADS ①-1kg 粒 土壌処理剤	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2				●	○前	+3 ~ 1.5L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28)
	東北		●1.5	●	●2	●2	●始	●始				●	○前				●	●	●	1.5	
	北陸		●1.5	●	●2	●2	●始					●	○前			●	●	●	●	2	
	関東 東海	早																			
		普																			
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●	○前				●	●	●	1	
		普	●1.5	●	●始	●始	●始					●	○前			●	●	●	●	2	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●	○前				●	●	●	1	
		普	●1.5	●	●始	●始	●始					●	○前			●	●	●	●	2	
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリウリ	ミヤカサリ	ヘラオモダカ	クログイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 27. TH-913HSK -1kg 粒 II-6-(6)を併用	北海道		○2	○	○2	○2		○2				○	○前	+5 ~ 1.2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○前			●	○	○	○		
	北陸		○2	○	○2	○2	○2	●2				○	○前			●	○	○	○		
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2					●	○前			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2					●	○			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2					●	○			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2					○	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2					○	○			○	○	○	○	1.5	

VII-1のつづき

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タナ	クロ クワ イ	オモ タナ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 28. TH-913ST 7077 ^ル II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道	○1.5	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 ●	+0~ /t ¹ 1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(34) (41)
	東北	○1.5	○	○始	○始	○始		○	○前	○前	*:エノノササカタ ² L		●	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北・東 海・九州)
	北陸	○1.5	○	○始	○始	○始		○	○前	○始			●	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2		○始	○期	○再 生 前			○ 1.5	○	○	○	1 2	
	近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○始	○始	○始		○	○生 期	○前			●	●	○	○	1	水口処理 可能 (全境)
	四国	早 普	○1.5 ○1.5	○始	○始	○始		○	○生 期	○前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○1.5 ○1.5	○2 ○始	○始	○始		○	○生 期	○前			○	○	○	○	1.5	
													○	○	○	○		
													○	○	○	○		
													○	○	○	○		
													○	○	○	○		
													○	○	○	○		

VII-2 初・中期一発処理剤

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タナ	クロ クワ イ	オモ タナ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 1. AC-014E -1kg 粒 薬液 薬処理	北海道	●2	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 始	+5~ /t ¹ 2L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
	東北	●2	●	●2	●2	●2		●	●期	●再 生 前			●	●	●	●	1	
	北陸	●2	●	●2	●2	●2	●2		●	●前			●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早 普	●2.5 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●生 期	●再 生 前	+5~ /t ¹ 2.5L		●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●2 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●前	●再 生 前	+5~ /t ¹ 2L		●	●	●	●	1	
	四国	早 普	●2 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●前	●再 生 前			●	●	●	●		
	九州	早 普	●2 ●2.5	●2 ●	●2 ●2	●2 ●2		●	●前	●再 生 前	+5~ /t ¹ 2.5L		●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タナ	クロ クワ イ	オモ タナ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 2. AGH-925 -1kg 粒 薬液 薬処理	北海道																	(34)
	東北																	
	北陸																	
	関東 東山 東海	早 普																
	近畿 中国	早 普	●2.5 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●生 期	●再 生 前	+5~ /t ¹ 2.5L	100 g/a	●	●	●	●	1	
	四国	早 普	●2.5 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●生 期	●再 生 前			●	●	●	●		
	九州	早 普	●3 ●	●2 ●2	●2 ●2	●2 ●2		●	●生 期	●再 生 前	+5~ /t ¹ 3L		●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タナ	クロ クワ イ	オモ タナ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 3. CH-904 粒 薬液 薬処理	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 始	+10~ /t ¹ 2.5L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	●2	○	○期	○前	+5~ /t ¹ 2.5L				○	○		
	北陸																	
	関東 東山 東海	早 普																
	近畿 中国	早 普																
	四国	早 普																
	九州	早 普																

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 壌土	埴 壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 4. CH-904X -1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生 前	+10~ノヒエ3L	100 g/a		●	●	●	2	(28)
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノヒエ3L			●	●	●		
	北陸												○始								
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 壌土	埴 壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 5. CH-904D	事業養子 環境処理	北海道												セリ	+ 5 ~ 7t 2.5L	300 g/a						{ 2 8 } { 3 4 }		
		東北											発生期	●前			○始							
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	●前			○始		○	○	○		2	
		関東 東山 東海	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前			○再生前		○	○	○			
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			○始		○	●	●		1	
				○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期			○前	○始		○	○		○	2
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			○再生前		○	●	●		1	
				○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期			○前	○始		○	○		○	2
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期			○前	○始		○	○		○	1.5

VII-2 6. CH-904D-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 壌土	埴 壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 7. CH-906 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	+10~ノヒエ2.5L	300 g/a		○	○	○	2	(28)
	東北		○2.5	○	○2	●2	○2				○発生 期	○前	○始	+5~ノヒエ2.5L			○	○	○	1.5	
	北陸												○始								
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 壌土	埴 壌土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 8. CH-906D 粒	北海道												●再生 前	+5~ノヒエ2.5L	300 g/a						(28) (34)
	東北											●前	○始								
	北陸		○2.5	○	○2	●2	○2	○2				●前	○始			●	●	○	○	2	
	関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				○発生 期	○前	○再生 前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	○始				●	●	●	1	
			○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始				○	○	○		
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	○再生 前				●	●	●		
			○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始				○	○	○		
	九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						○始			●	●	●	●	1.5	

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ネタリイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダマ	クロガワ	オモダマ	ヒルムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 9. CH-906D -1kg 粒	聖薬素土壌処理	北海道													+5~1/2 ¹ ±2.5L	100g/a						(28)
		東北																				
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2											●●		1	
		関東	早																			
		東山	普																			
		近畿	早																			
		畿中	早	●2.5	●	●2	●2	●2						セリ●再生前			●●	●●	●●			
		四国	早											●●再生前			●●	●●	●●			
		早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2						●●再生前			●●	●●	●●			
		九州	早											●●再生前								
		普												●●再生前								

	処理法	地域名	作期	ノビエ 正薬 770g	ネギノ イ	ウリカワ	ミズ ヤ グリ	ヘラモ ダマ	クロガ ワ	オモダ マ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 10. CH-907 -1kg 粒	聖薬素土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2		●発生期	●前	再生前	+5 1/2±2.5L	100 g/a		●	●	●	2-	{ 3 4 } (4 1)		
		東北		○2.5	○	○2	●2	○2	●2			○発生期	○前			再生前		●	○	○			
		北陸		○2.5	○	○2	●2	○2	○2				●発生期				●	○	○				
		関東	早									●発生期	○前			再生前							
		東山	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前			再生前				○	○		
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前			●発生期				●	●	1	
		畿中	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前			○発生期		●	○	○	○2		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前			再生前				●	●	●	1
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前			再生前		●	○	○	○2		
		九州	早																				1
		普	●2.5	●	●2	●2	●2														●	●	

	処理法	地域名	作期	ノビエ 広葉マツハイ	ネギナ クリカワ	ミズカ ヤフリ	ヘラオモ ダマ	クロガ ワ	オモダ マ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離				処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 11. CH-908 -1kg 粒	薬素土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2		●発生期	●前	●再生前		+10〜ノビエ2L	100g/a		●	●	●	2	{28 34}
		東北		●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前		+5〜ノビエ2L		●	●	●	1	
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●前	●始		+5〜ノビエ2.5L				●	●	
		関東 東山	早													+5〜ノビエ2L						
			普	●2	●	●2	●2	●2	●2											●	●	
		近畿 畿中	早									●発生期				+5〜ノビエ2.5L						
			普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期							●	●	●	
		四国	早									●発生期										
			普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期							●	●	●	
		九州	早																			
			普	●2.5	●	●2		●2		●2											●	

VII-2 12. CH-941 フロツル 「継」

VII-2 13. CH-941D フロツル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ネタリイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダマ	クロガワ	オモダマ	ヒルムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 14. DPX-47K -1kg 粒 II-6-(5)を併用	聖薬素土壌処理	北海道													+5~1/2 ¹ ±2.5L *:シズイ発生始~草丈3cm	100g/a						(28) (34) (40)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生期	●前●再生前	●*			●●	○●	○●	○●	2	
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前●再生前				●●	○●	○●	○●		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前○再生前				○●	○●	○●	○●		
		東山	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2													
		近畿	早																		1.5	
		畿中	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●再生前			●●	●●	●●	●●		
		普												●再生前			●●	●●	●●	●●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●再生前			●●	●●	●●	●●		
		普												●再生前			●●	●●	●●	●●		
		九州	早	●2.5	●	●2		●2					●発生期				●●	●●	●●	●●	1	
		普															●●	●●	●●	●●		

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2	広葉 7/24	ナリ 4/1	ミナ 7/2	ヘナ 7/2	クロ 7/2	モ 7/2	ミ 7/2	葉類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 15. DPX-47MN -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	葉菜類 菜類 菜類	北海道	●2	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	+5~ 7/2 L	100	●	●	●	●	2	(28) (34) (36) (40)
		東北	●2	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1.5	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2						+5~ 7/2 L	100	●	●	●	1	
		関東 東海	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2					●	*:エダノササダ 2L *:1/2 2)コナナナ	●	●	●	2		
		近 中国	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1
		早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1.5	
		四国	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	
		早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1.5	
		九州	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2	●2				●	●	●	●	●	●	1	

	処理法	地域名	作期	／ヒ x 広葉マツハイ	至 マツハイ	ナリ	ナリ	ミ タ	ヘ タ	クロ ワ	オ カ	ミ ロ	葉 類		処理時期	使用 量 製品	砂 土	土	土	土	水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 16. DPX-47ND -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2	●2	●2				●発 期	●前 期	●再 生 前 始	+ 5 ~ ／ヒ x 3 L	100 g/a	●	●	●	●	2	(2 8) (3 4)	
		東北	●3	●	●2	●2	●2	●2										●	●	●	●		1.5
		北陸	●3	●	●2	●2	●2	●2						●前 期	●再 生 前 始			●	●	●	●	2	
		関東 東海	早 普	●3 ●	●	●2	●2	●2	●2				●発 期	●前 期	●再 生 前 始				●	●	●	●	1.5
		近 畿 中国	早 普	●3 ●	●	●2	●2	●2	●2				●発 期	●前 期	●再 生 前 始				●	●	●	●	1
		四国	早 普	●3 ●	●	●2	●2	●2	●2				●発 期	●前 期	●再 生 前 始				●	●	●	●	
		九州	早 普	●3 ●	●	●2	●2	●2											●	●	●	●	

	処理法	地域名	作期	1/2	広葉 マナハ	ナリ	ナリ	ミナ ナリ	ハナ タナ	クロ ナリ	オナ ナリ	ヒル シ	葉類 剥		処理時期	使用 量	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用 上の 注意		
VII-2 17. DPX-47SC 粒	草蓋土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再 生前 始	+5~1/2 ² L	300 g/a		○	○	○	2	{28 34}		
		東北		●2	●	●2	●2	●2	●2				●前	●再 生前 始	+5~1/2 ² L				●	1.5				
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○再 生前 始	+5~1/2 ² L					○	1		
		関東 東海	早 普	○2.5 ○	○	○2	○2	○2	○2				○生 期	○生 期	○再 生前 始				○	○	○	2		
		近畿 中国	早 普	○2.5 ○	○	○2	○2	○2	○2				○生 期	○生 期	○再 生前 始				○	○	○	1		
		四国	早 普	○2.5 ○	○	○2	○2	○2	○2				○生 期	○生 期	○再 生前 始					○	○	○		
		九州	早 普	○2.5 ○	○	○2	○2	○2	○2												○	○	○	1.5

	処理法	地域名	作期	1/2	1年 正作	ナリ	ナリ	ミナ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	モ ナリ	ミ ナリ	葉類 ナリ	処理時期	使用 量	砂 堆	土	土	土	減水 cm/d	使用上の 注意			
VII-2 18. DPX-47SC -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	養葉土 土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○再生 前	●*	+5~ 1t ² 2.5L	100 g/a	●1.5	○	○	○2	(28) (34) (40)	
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2				○発生 期	○前	○始	●***	*:1/2		●	●	●	1.5	(28) (34) (40)
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○始				●	●	●	○	2	(28) (34) (40)
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期	○前	○再生 前		**: 1/2		○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期	○前	○前		2/2		●	●	○	○	
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期	○前	○始				●	●	○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期	○前				●	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期		○再生 前				○	○	○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生 期	●前				●	○	○	○	1.5	
		九州	早												始	ワナリ				●	●	●	●	1

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年蒔 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラモ タナ	クログ ヲ	ネモグ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 19. DPX-47TD -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	茶葉茶葉茶葉 茶葉茶葉茶葉																					

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タナ	クロ グ	ネモ グ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 20. DPX-84MN 1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	莖葉土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	再生 前	+5~1/2 ¹ 2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (36) (40)
		東北		●2	●	●2	●2	●2	●2			●発生	○前	再生 前	+5~1/2 ¹ 2L	●●●●	●	●	●	●		
		北陸												再生 前								
		関東 東山	早												*:エゾノササガ 2L *:1)シズ *:2)コキヤ 発生							
		東海	普																			
		近畿 中国	早																			
		中国	普																			
		四国	早																			
		九州	早																			
			普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タナ	クロ グ	ネモ グ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 21. DPX-84MN ① 粒 II-6-(8)	北海道										○発生	再生 前	+5~ 1/2 ¹ 2.5L	300 g/a						(28) (34) (36) (42)
	東北										○発生	再生 前								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～四国）

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タナ	クロ グ	ネモ グ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 22. DPX-84MN ①-1kg 粒 II-6-(8)	北海道													100 g/a						(28) (34) (36)
	東北																			
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○前		+5~ 1/2 ¹ 2.5L (関東～東海 の早期は15~ 1/2 ¹ 2Lまで)		○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	●2	●	●2	●2	●2	●2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1	
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	2	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			○発生	○前	再生 前		○	○	○	○	1.5	

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 23. DPX-84ND 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	○3	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノヒエ3L	300 g/a		○	○	○	2	(28) (38) (42)
	東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●始	●始	●始	●始	+5~ノヒエ2.5L		●	●	●			
	北陸												○前								
	関東 東山 東海	早 普											○再生 前								
	近畿 中国	早 普											○前								
	四国	早 普											○再生 前								
	九州	早 普											○前								
													○再生 前								
													○前								
													○再生 前								

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 24. DPX-84ND ① 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道											○再生 前	○*	+5~ノヒエ3L	300 g/a					2	(28) (38) (42)
	東北											○前	○*								
	北陸	○3	○	○2	○2	○2						○前	○*			●	○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早 普	○3	○	○2	○2	○2			●始	●始	○発生 期	○*			●	●	○	○		
	近畿 中国	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○*	○発生 期	○*				○	○	○	1	
	四国	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○*	○発生 期	○*			○	○	○	○	2	
	九州	早 普	●3	●	●2	●2	●2			●始	●始	○発生 期	○*			○	○	○	○	2	
													○再生 前			○	○	○	○	1.5	
													○前			○	○	○	○		
													○再生 前			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 25. DPX-84SC -1kg 粒 II-6-(2) II-6-(5) II-6-(8) を併用	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○*	+5~ノヒエ2.0L ノヒエ2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (38) (42)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	●始	○期	●前	●前	●*			●	○	○	○		
	北陸												○*								
	関東 東山 東海	早 普											○*								
	近畿 中国	早 普											○*								
	四国	早 普											○*								
	九州	早 普											○*								
													○*								
													○*								
													○*								

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 26. DPX-84SC ①-1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) 併用	北海道											○発生 期	○*	+5~ノヒエ2.5L	100 g/a					2	(28) (38) (42)
	東北											○発生 期	○*								
	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○*			○	○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			●始	○期	○前	○*			○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○*	○*			○	○	○	○	1	
	四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			●始	●始	○期	○*			○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			●始	●始	○期	○*			○	○	○	○	1.5	
													○*			○	○	○	○	1	
													○*			○	○	○	○	1.5	
													○*			○	○	○	○	1.5	

[illegible]

VII-2 33. HSW-942-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作 期	一年 広葉 マハ	ナリ	カリ	ミ カ ワ	ヘ タ	コ ワ	モ サ	ヒ シ	類 層 剥	再 生 前	再生 期	処理時期	使用 量 製品	砂 土	堆 土	植 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 34. KUH-883①粒	産土・養土・堆肥	北海道											発生期	再生期	+0～ (早期は2L)	300 g/a					(26) (34) (38) (42)
		東北											発生期	再生期							(26) (34) (38) (42)
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		発生期	再生期			○	○	○	2	(26) (34) (38) (42)
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				発生期	再生期			○	○	○		砂土、堆土は15ヶ月(九州普通期は13ヶ月)
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	発生期	再生期			○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				発生期	再生期	+5～7×2L		○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		発生期	再生期	+0～7×2.5L		○	○	○	2	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				発生期	再生期	+5～7×2L		○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		発生期	再生期	+0～7×2.5L		○	○	○	2	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○始					発生期	再生期	+5～7×2L		○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○始					発生期	再生期	+0～7×2.5L		○	○	○	1.5	

	処理方法	地域名	作期	ヒエ 一広葉 マツハチ	ホタルイ ウリカワ	ミヤ ナガ	ハナモ タ	クロダ マ	オモダ マ	ヒルム シ	藻類 表層	再生 前	再 生 期	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 35. KUH-883D 1kg	窒素養分土壌処理	北海道 東北	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○	○前	○始	+0 ~ +1 ±2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(26) (34) (38) (41)
		関東 東山 南海	早普	○2	○	○2	○2	○2	○2		○	○	○	+0 ~ +1 *2L		○	○	○	○		砂壌土、濠土は 15~(近畿~四国 以外の地域)
		近畿 中国	早普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●	○前	○前	●	+0 ~ -2 ±2.5L		○	○	○	○	1	
			早普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●	○前	○前	●			●	○	○	○	L.5	
		四国	早普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●	○前	○前	●					○	○	1	
			早普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●	○前	○前	●			●	○	○	○	L.5	
		九州	早普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○	○前	○前			○	○	○	○	2	

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラオモ ダカ	クロガ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 36. KUH-931 -1kg 粒	北海道		● 3	●	● 2	● 2		● 2			● 発生期	● 前	● 再生前	+10～/ヒ・エ3L	100 g/a	●	●	●	●	2	{ 28 } { 34 }
	東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2			● 発生期	● 前	● 再生前	+5～/ヒ・エ3L		●	●	●	●	1.5	
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2			● 発生期	● 前	● 再生前			●	●	●	●	2	
	関東	早	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前			●	●	●	●		
	東海	普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前			●	●	●	●		
	近畿	早											● 再生前								
	中国	普	● 3	●	● 2	● 2	● 2						● 再生前				●	●		1	
	四国	早											● 再生前								
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2						● 始				●	●			
	九州	早											● 始								
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 前					●	●	●			

	処理法	地域名	作期	／ヒ・エ	広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラオモ ダカ	クロガ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 37. KUH-936 -1kg 粒	基準養土壌処理	北海道		● 3	●	● 2	● 2		● 2			● 発生期	● 前	● 再生前	+10～/ヒ・エ3L	100 g/a		●	●	●	2	(2 8)	
		東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2			● 発生期	● 前	● 再生前	+5～/ヒ・エ3L				●	●	1		
		北陸												● 始									
		関東	早																				
		東山	普																				
		東海																					
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
			普																				
	九州	早																					
		普																					

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラオモ ダカ	クロガ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 38. KUH-936B -1kg 粒	北海道													+5～/ヒ・エ3L	100 g/a						{ 28 } { 34 }
	東北																				
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 前		● 再生前			●	●	●	●	2	
	関東	早	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 前	● 再生前	● 再生前			●	●	●	●		
	東海	普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前			●	●	●	●		
	近畿	早											● 再生前								
	中国	普	● 3	●	● 2	● 2	● 2						● 再生前				●	●		1	
	四国	早											● 始								
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2						● 始				●	●			
	九州	早	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期					●	●	●			
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 期					●	●	●			

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラオモ ダカ	クロガ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 39. KUH-936C -1kg 粒	北海道												● 再生前	+5～/ヒ・エ3L	100 g/a						{ 28 }
	東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前					●	●	1	
	北陸												● 始								
	関東	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

	処理法	地域名	作期	ハビエ 一年 広葉 マツバ	ネタカ	クリカリ	ミナ フリ	ヘアオモ ダケ	クロガ イ	オモギ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用・ 製品	砂 壤土	壇 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意				
VII-2 40. KUB-936C -1kg 粒	茎葉茶十添処理	北海道											+5〜/t°±3L +5〜/t°±2.5L	100 g/a					2	{ 2 8 } { 3 4 }			
		東北																					
		北陸	● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2							● 前			●			●	●	
		関東山 東海	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2							発生期	● 前	再生前 始	●			●	●	●
		畿中	早 普	● 3		● 2	● 2	● 2							● 再生前 始								
		四国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2							● 再生前 始	●	●	●	●	1.5			
		九州	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					発生期			●	●	●	●	1			

VII-2 47. NBA-943-1kg 粒 「繼」

[illegible]

VII-2 49. NC-311DCD -1kg 粒	処理法 苦葉茶・廃処理	地域名	作期 /ヒ・エ	一年 広葉 マツハ	ナメ4	クリカ	ミス カヤ	ヘラオ タカ	クロ カ	オモ カ	ヒルシ ロ	落葉 表割	朝顔 籾	サリ	再生 前 始	処理時期	使用 量 製品	砂 壁 1.5	壇 土	壇 土	壇 土	水 深 cm/d	使用上の 注意
		北海道	● 3	●	● 2	● 2		● 2				● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始		+5~1/t±3L	100 g/a	●	●	●	●	2	(2 8)
		東北										● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始									
		北陸										● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始		+5~1/t±2.5L							
		関東 東山 東海	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始						●	●		
		近畿 中国	早 普	● 3		● 2	● 2	● 2				● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始		+5~1/t±3L						1	
		四国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始					●	●	●		
		九州	早 普									● 発 生 期	● 前	● 再 生 前 始					●	●	●		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ モ・タ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 54.NC-329 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○*	+5~+20 (/t ² 2.5L)	300	○	○	○	2	(34) (38) (40) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○前	○**	+5 (/t ² 2.5L)	○	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	○前	○始		○	○	○	○		
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	*:イノ/ササカ ² 始 *:シズ ² イ	○	○	○	○		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○	○前	○		○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○	○前	○		○	○	○	○		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○	○前	○		○	○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○期	○	○前	○		○	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北・関東～九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（北陸～四国）

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ モ・タ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 55.NC-329 -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○*	+5~+20 (/t ² 2.5L)	100	○	○	○	2	(34) (40) (41)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○**	+5 (/t ² 2.5L)	●	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○始		●	○	○	○		
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	*:イノ/ササカ ² 始 *:シズ ² イ ※:3cm	○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○		○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○		○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○		○	○	○	○	1.5	
	九州	早	●2.5	●			●2				○	○前	○			●	●	●		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○		○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ モ・タ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 56.NC-345 -1kg 粒	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●	○前	○	+5~+12.5L	100	●	●	●	2	(28) (34)
	東北										●	○前	○							
	北陸											○前	○							
	関東 東海	早										○前	○							
	普											○前	○							
	近畿 中国	早										○前	○							
	普	●2.5	●	●2	●2	●2					●	○前	○			●	●	●	1	
	四国	早										○前	○							
	普	●2.5	●	●2	●2	●2						○前	○			●	●	●		
	九州	早										○前	○							
	普	●2.5	●	●2	●2	●2					●	○前	○		●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ モ・タ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1として 57.NC-351 粒	北海道		●2	●	●2	●2					●	○前	○	+5~+12.5L	300			●	1.5	(28) (34)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●2			●	○前	○				●	●		
	北陸		●2	●	●2	●2	●2					○前	○				●	●	2	
	関東 東海	早									○	○前	○							
	普	●2	●	●2	●2	●2				○	○前	○					●	●		
	近畿 中国	早									○	○前	○							
	普	●2	●	●2	●2	●2					○	○前	○			●	●	●	1	
	四国	早										○前	○							
	普	●2	●	●2	●2	●2					○	○前	○			●	●	●		
	九州	早									○	○前	○							
	普	●2	●	●2	●2	●2					○	○前	○		●	●	●	●		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカフリ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 58.NC-355 顆粒水和 「継」	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+5~7t・12L	6g/a 希水 50ml		●	●	●	2	(28)
	東北		●2	●	●2	●2	●2											●	●	1	
	北陸																				
	関東 東海	早普																			
	近畿 中国	早普																			
	四国	早普																			
	九州	早普																			

VII-2 59.NC-363 顆粒水和 「継」

VII-2 60.NC-365-1kg 粒 「継」

VII-2 61.NC-366-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカフリ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 62.NCH-903 DEH-1kg 粒 「継」	北海道		●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+5~7t・13L	100g/a		●	●	●	2	(28)
	東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前	+5~7t・12.5L			●	●	●	1.5	(34)
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●始					●	●	1	
	関東 東海	早普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	2	
	近畿 中国	早普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始					●	●	1	
	四国	早普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始					●	●		
	九州	早普	●3	●	●2		●2				●発生期	●前		+5~7t・13L				●	●		

VII-2 63.RYH-102-1kg 粒 「継」

VII-2 64.RYH-103 フロアブル 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカフリ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 65.TH-913ADE -1kg 粒 「継」	北海道		○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~7t・13L	100g/a	●1.5	○	○	○	2	(28)
	東北		○3	○	○2	●2	○2	○2			●発生期	●前	●再生前				●	○	○	1.5	(34)
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2					○前				●	○	○	2	
	関東 東海	早普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	●再生前	+7~7t・13L			○	○	○		
	近畿 中国	早普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	2	
	四国	早普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	2	
	九州	早普	●3	●	●2		●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
		普	○3	○	○2	○始	○2				○発生期	○前	○再生前				○	○	○	1.5	

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミナ ガヤ	ハナモ タ	クロガ ヤ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 66. TH-913SN 粒	千葉県 環境処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再生 前	+10~1/2×2.5L	300 g/a	○5	○	○	○	2	{28} {34}
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前	+5~1/2×2.5L		○	○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○		
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミナ ガヤ	ハナモ タ	クロガ ヤ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 67. TH-913SN -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) を併用	千葉県 環境処理	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前	±5~1/2×2.5L	100 g/a	○5	○	○	○	2	{28} {34} {40}
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	●前	●前			●	○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	●2			●	●前	○前			●	○	○	○		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2			●	●前	●再生 前	**：1/2×2.5L ***：1/2×2.5L 2L 2L		○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○		
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			●	●前	○前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	●前	●前			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミナ ガヤ	ハナモ タ	クロガ ヤ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 68. TH-913SSC 粒 II-6-(6) を併用	千葉県 環境処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再生 前	+10~1/2×2.5L	300 g/a	○5	○	○	○	2	{28} {34}
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前	+5~1/2×2.5L		○	○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	●2			○	○前	○前			○	○	○	○		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○再生 前	**：1/2×2.5L 2L		○	○	○	○	1	
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			●	●前	●再生 前			○	○	○	○	2	
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			●	●前	○前			○	○	○	○	2	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	●前	○前			○	○	○	○	2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			●	●前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミナ ガヤ	ハナモ タ	クロガ ヤ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 69. NH-9302 -1kg 粒	千葉県 環境処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●	●前	●再生 前	+5~1/2×2.5L	100 g/a	○	●	●	●	2	{28} {34}
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●	1	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		
		関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●再生 前			○	●	●	●	2	
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●	1	
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●	2	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●	●前	●前			○	●	●	●		

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネグ イ	クリ イ	ミズ イ	ヘ イ	クロ イ	モ イ	ヒル シ	藻類 剥離	ヒ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 1.AC-014A 粒	土壌処理	北海道	●1.5	●	●2	●2	●2				●発 期	●前	●再 生 前 始	+0~/ t° 1.5L	300 g/a		●	●	●	2	(28)
		東北	●1.5	●	●2	●2	●2				●発 期	●前	●再 生 前 始				●	●	●		
		北陸	●1.5	●	●2	●2	●2	●2					●再 生 前 始					●	●	1	
		関東 東海	早 ●1.5	●	●始	●始	●始				●発 期	●前	●再 生 前 始				●	●	●	2	
		近畿 中国	早 ●1.5	●	●始	●始	●始				●発 期	●前	●再 生 前 始								
		四国	早 ●1.5	●	●始	●始	●始				●発 期	●前	●再 生 前 始								
		九州	早 ●1.5	●	●始	●始	●始				●発 期	●前	●再 生 前 始								

VII-3-(1) 2.AC-014A① 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネグ イ	クリ イ	ミズ イ	ヘ イ	クロ イ	モ イ	ヒル シ	藻類 剥離	ヒ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 3.AC-014C -1kg 粒	茎葉兼 土壌処理	北海道	●2	●	●2	●2	●2				●発 期	●前	●再 生 前 始	+5~/ t° 1.5L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●1.5	●	●2	●2	●2	●2			●発 期	●前	●再 生 前 始	+5~/ t° 1.5L			●	●	●		
		北陸	●2	●	●2	●2	●2	●2					●再 生 前 始	+5~/ t° 1.5L				●	●	1	
		関東 東海	早 ●2	●	●始	●始	●始														
		近畿 中国	早 ●2	●	●始	●始	●始														
		四国	早 ●2	●	●始	●始	●始														
		九州	早 ●2	●	●始	●始	●始														

VII-3-(2) 一年生持続型除草剤

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネグ イ	クリ イ	ミズ イ	ヘ イ	クロ イ	モ イ	ヒル シ	藻類 剥離	ヒ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(2) 1.CH-902 -1kg 粒	土壌処理	北海道	●1	●	●始									+5~/ t° 1L	100 g/a		●	●	●	2	(18) (33)
		東北	●1	●	●始									+3~/ t° 1L			●	●	●	1.5	
		北陸	○1.5	○	○2									+3~/ t° 1.5L		●	●	○	○	2	
		関東 東海	早 ●1.5	●	●2											●	●	●	●	1	
		近畿 中国	早 ○1.5	○	○2												○	○	○	2	
		四国	早 ○1.5	○	○2																
		九州	早 ○1.5	○	○2																

VII-3-(2) 2.CHG-948-1kg 粒 「継」

VII-3-(2) 3.MSC-301-1kg 粒 「継」

Ⅵ-1 少量散布法

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズナ	ヘラオモダカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 1. XUH-883D -1kg 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	北海道									発生期	前	+15 ~ +20 (ノビエ2.5L) 関東・東海・東海の早期は2L	100 g/a						(26) (34) (38) (41)
		東北									発生期	前								
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	○再生			○	○	○	○	2	
		関東	早	○2	○	○2	○2	○2			発生期	前			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			発生期	前			○	○	○	○		
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前							1	
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前			●	●	●	●	1.5	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前			●	●	●	●	1	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			発生期	前			●	●	●	●	1.5	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2			発生期	前			○	○	○	○	2	
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			発生期	前			○	○	○	○		

初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上（北陸～東海、近畿～四国、九州）

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズナ	ヘラオモダカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 2. NC-311SD 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			発生期	前	+15 ~ +20 (ノビエ2.5L)	300 g/a		●	●	●	2	(34) (36) (38) (40) (42) (44)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	発生期	前				●	●	●		
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●		発生期				●	●	●		
		関東	早																	
		東海	普																	
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前					●	●	1	
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前					●	●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期	前					●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			発生期	前					●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2			発生期				●	●	●	●	1.5	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●	発生期				●	●	●	●		

初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上（北海道、東北、北陸、近畿～四国の早期、九州）
 クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。（東北、関東～九州）
 オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。（東北～四国）

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズナ	ヘラオモダカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 3. SL-970 7077 [®] 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	北海道	●1.5	●	●2	●2		●2			発生期	前	+15 ~ +20 (ノビエ1.5L) +15 ~ +20 (ノビエ2L)	300 g/a		●	●	●	2	(33) (34) 水口処理 可能 (東北、北陸)
		東北	●2	●	●2	●2	●2	●2			発生期	前				●	●	●		
		北陸	●2	●	●2	●2	●2	●2			発生期	前				●	●	●		
		関東	早																	
		東海	普																	
		近畿	早																	
		中国	普																	
		四国	早																	
		普																		
		九州	早																	
		普																		

初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上（北海道、東北、北陸）

Ⅵ-2 少量散布

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズナ	ヘラオモダカ	クロクワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅵ-2 1. TSR-121 7077 [®] 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	北海道											+0 ~ ノビエ1L	30 ml/a						一発処理型除草剤として少量散布が可能
		東北																		
		北陸	●1	●	●始												●	●	2	
		関東	早																	
		東海	普																	
		近畿	早																	
		中国	普																	
		四国	早																	
		普																		
		九州	早																	
		普																		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネタ イ	ウリ カ	ミズ カ	ヘ タ	クロ イ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅷ-2 2. NSK-850 粒	北海道											植代後～4	200 g/a					1	一発処理型除草剤の少量散布(200g/a)が可能
	東北																		
	北陸	●	●	●												●	●		
	関東	早																	
	東海	普																	
	近畿	早																	
	中国	普																	
	四国	早																	
		普																	
	九州	早																	
		普																	

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む。)

草種欄の数字、字句で草種毎の葉齢を示した。【例：○前(発生前)、○2(2葉期まで)】

ⅣおよびⅤの項目の地域名の○は前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。

使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。

2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期・使用量を記載した。

3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合

作期の拡大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。

草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。

葉齢の拡大：拡大可能となった葉齢にアンダーラインを付した。(例：○2.5)

処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：+3～/ピ₂L、50～75ml/a)

土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。

4. 「懸」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

新刊

SHIBUYA INDEX (英語版) —Index of Pesticides— 1993年版

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第6版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余种を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余种も掲載。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

平成6年度水稻関係除草剤ジャンボ剤使用基準一覧表

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモダナ	クロクワイ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2 1. CG-113	北海道																			(45)
	東北		●始	●	●								+3~+5	50g x 23/a		●	●	●	1.5	
	北陸		●	●	●	●											●	●	1	
	関東山	早																		
	東海	普																		
	近畿	早																		
	中国	普																		
	四国	早																		
	九州	早																		
		普																		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモダナ	クロクワイ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2 2. KPP-2005	北海道		○1	○	○始		●始						撒種後~4, 10~+3 (/t x 1 L)	50g x 23/a	●	○	○	○	2	(45) (46)
	東北		○	○	○	○							植代後~4 +0~+3		●	○	○	○	1	
	北陸		○	○	○	○									●	○	○	○	2	
	関東山	早											植代後~4 (/t x 1 L)		○	○	○	○		
	東海	普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○		
	近畿	早											植代後~4 (/t x 1 L)		○	○	○	○	1.5	
	中国	普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○		
	四国	早													○	○	○	○		
	九州	早	●始	●	●	●	●						植代後~4 +0~+3		●	●	●	●		
		普	○始	○	○	○	○								●	●	○	○	1	

Ⅱ-2 3. RPJC-01 「継」

Ⅱ-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモダナ	クロクワイ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 1. AKD-7036	北海道											○始~盛	藻類・表層剥離 発生始~	50g x 23/a		○	○	○	2	(45)
	東北											○始~盛	盛期			○	○	○	1	
	北陸											○始~盛				○	○	○		
	関東山	早											藻類・表層剥離・ウキクサ発生始~盛期		○	○	○	○	2	
	東海	普										○始~盛								
	近畿	早											藻類・表層剥離 発生始~		○	○	○	○	1	
	中国	普										○始~盛	盛期		○	○	○	○		
	四国	早										○始~盛			○	○	○	○		
	九州	早										○始	藻類・表層剥離 発生始			○	○	○	1.5	
		普										○始				○	○	○		

Ⅱ-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモダナ	クロクワイ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 1. DEH-112	北海道		●3										+15~+25 (/t x 2.5L~8L)	50g x 23/a			●	●	2	(45) (47)
	東北		●3.5										+15~+35 (/t x 2.5L~3.5L)	50g x 23/a	●	●	●	●	1.5	
	北陸		●3.5											50g x 23/a	●	●	●	●	2	
	関東山	早											+20~+35 (/t x 2.5L~4L)	50g x 23/a	●	●	●	●		
	東海	普	●4													●	●	●	●	
	近畿	早																		
	中国	普																		
	四国	早																		
	九州	早																		
		普																		

II-6-(1) クログワイ対象

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ホノイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-6-(1) 1. JC-940 II-6-(5) を併用	北海道												ノヒエ	+2~発生始まで	50g x25 /a					1.5	(40) (42) (45) (47)
	東北								●始				●始					●			
	北陸																				
	関東山	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普							●始								●	●	●	1	
	四国	早							●始								●	●	●		
	九州	早							●始								●	●	●		
		普															●	●	●		

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5) 1. JC-940 「寒・継」 II-6-(1) No.1参照

VII 一発処理剤

VII 1. CH-908 「継」

VII 2. NC-353 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ホノイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII 3. NSK-850D	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~/t±1.5L	50g x25 /a	●	○	○	○	2	(28) (34) (45) (47)
	東北		○1	○	○始	●始	○始							+5~/t±1L		○	○	○	○	1	
	北陸																				
	関東山	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ホノイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	トリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII 4. NSK-850D○	北海道													+5~/t±1.5L	50g x25 /a						(28) (34) (45) (47)
	東北																				
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始					●前					○	○	○	2	
	関東山	早																			
	東海	普	○1.5	○	○2	○2	○2					●前	●再生前			●	●	○	○		
	近畿	早																			
	中国	普	○1.5	○	○始	○始	○始						●再生前			●	○	○	○		
	四国	早																			
		普	○1.5	○	○始	○始	○始						●始			●	○	○	○		
	九州	早																		1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生期					●	●	○	○		

Ⅶのつづき

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカリ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ 5. SW-918④	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○前	○再生前 始	+ 3 ~ 7 t×1.5 L	50g x2.1 /a	1.5	○	○	○	○	2	{ 4 5 } { 4 7 }
		東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始										○	○	1		
		北陸																					
		関東 東山 東海	早 普																				
		近畿 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカリ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ 6. SW-918	土壌処理	北海道													+3~ 7t×1.5L	50g x2.1 /a							(26) (36) (46) (47)
		東北																					
		北陸		○1.5	○	○始	○始	○始															
		関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2					○再生前 始				1.5	○	○	○	○	1 2	
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始					○再生前 始									1.5	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始					○再生前 始										
		九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○始 ○始				○発生期	○再生前 始									2	

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤

Ⅶ-3-(1) 1. AC-140 「継」

Ⅶ-3-(1) 2. AC-014C 「継」

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

Ⅶ-3-(2) 1. AC-140④ 「継」

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大しない場合も含む。)
草種欄の数字、字句で草種毎の薬齢を示した。【例：○前(発生前)、○2(2薬期まで)】

ⅣおよびⅤの項目の地域名の○は前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。

使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。

2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期・使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合

作期の拡大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。

草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。

薬齢の拡大：拡大可能となった薬齢にアンダーラインを付した。(例：○2.5)

処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：4.3 ~ ノビ2L、50 ~ 75ml/a)

土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。

4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下のときは、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48〜72時間経過後に行なう。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/a を処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/a で処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカフに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/a とし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用は避ける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (21) 前処理剤との組合せで使用する。
- (22) 稀釈水量は出来るだけ少く茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用は避ける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組合せで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組合せで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組合せで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組合せで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組合せで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除はエゾノサヤヌカグサに有効な剤との組合せで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5〜6cmの湛水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。



こりゃい〜や、軽くて楽だ!

省カタイプ・10アール当り

1キロ散布

初・中期一発処理除草剤

フジクラ® 1キロ粒剤

少量化で省力化。

フジクラ普及会
デュボン株式会社
ゼネカ株式会社
事務局
日本農業株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号

植調協会だより

◎ 人事異動

平成7年2月28日付

退職 研究所 技師

厚田 薫

平成7年3月1日付

命 研究所特別研究チーム主任研究員

高橋 宏和

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)3832-4188(代)

平成7年3月発行

植調第28巻第12号

定価412円(送料250円)

(本体400円, 消費税12円)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂 英雄

発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)3833-1821番(代)

印刷所 新 成 印 刷 株式会社

新刊

待望の植物生態図鑑 遂に完成

日本

山野草・樹木生態図鑑

シダ類・裸子植物・被子植物(離弁花)編

監修 沼田 真

編者 浅野貞夫・桑原義晴

B5判・664頁・オールカラー・定価25,000円(本体24,272円)

内容見本進呈

収録植物1602種類

植物の種類数が豊富

写真と図を併用した生態図鑑で植物が一目で判る

特色

生活型を記載した

類似種の区別が容易

北海道から沖縄まで日本列島に生育するシダ植物、山野草、雑草、帰化植物、樹木のほとんどについて、カラー写真2,655点、図版830点をつかい、生育環境や生活型、個々の種の特徴や類似植物との区別点などを追究した、今までに類を見ない植物生態図鑑。



暑中、朝夕の涼に花が咲くので、セツブンソウという

1980.3.11 埼玉県秩父 (山田)



1980.3.9 埼玉県秩父 (特許)

セツブンソウ

Setsubunso

Shibeteranthus pinnatifida Satake et Okuyama

夏緑性多年草。成長期間2～5月。山地の落葉広葉樹林の林

【キンボウゲ科】

小葉片は線形で鈍頭。茎は直立し、高さ5～15cm。茎上部に無柄の苞葉がつく。葉、葉ともは軟弱で無毛。【花・果実】花期は2～3月。花は茎先の苞葉の上に1個つく。花の径2～3cm。花弁状のがく片は5個、白色で卵形、長さ1～1.5cm。花弁は

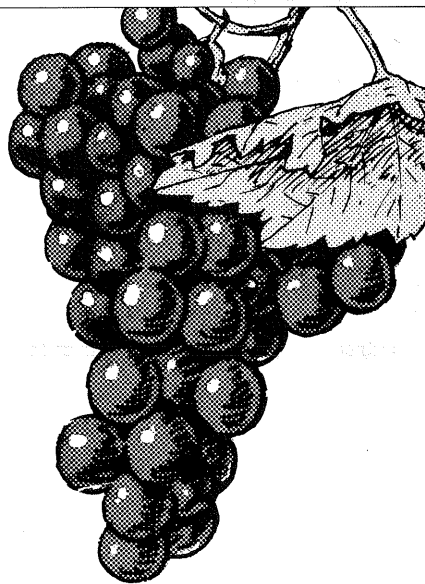
全国農村教育協会 東京都台東区台東1-26-6 〒110
TEL 03-3833-1821 FAX 03-3833-1665

植物化学調節実験法

植物化学調節学会 高橋 信孝・編

A5判・468頁・定価5,000円(税別)

植物の化学調節研究はいわゆるモノリ屋、ブッカケ屋の連携によって初めて可能となるもので、両者の相互理解が必要です。本書はこの研究に役立つよう編集されています。つまり、作物の研究者、技術者が生理活性物質の分離・同定や生物検定法を、化学、薬学の研究者が除草剤、植物調節剤の生物実験法を理解し、実験できるよう平易かつ具体的に解説してあります。



発行 植物化学調節学会

発売 全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)

〒213 TEL.03(833)1821 FAX.03(833)1665



●ポラリスは特殊製剤ですから少ない水でもしっかりと除草効果を発揮します。雑草の一部に付くだけで雑草全体を枯らしめるので速く枯らすだけの除草剤のように枯れ残しや再生がありません。

●黄色い目印のキールズルで、少量散布すれば、経済的に防除できます。

●特殊製剤で除草効果が高いので同じ除草コストならポラリスの方が経済的です。

除草効果を高める特殊製剤



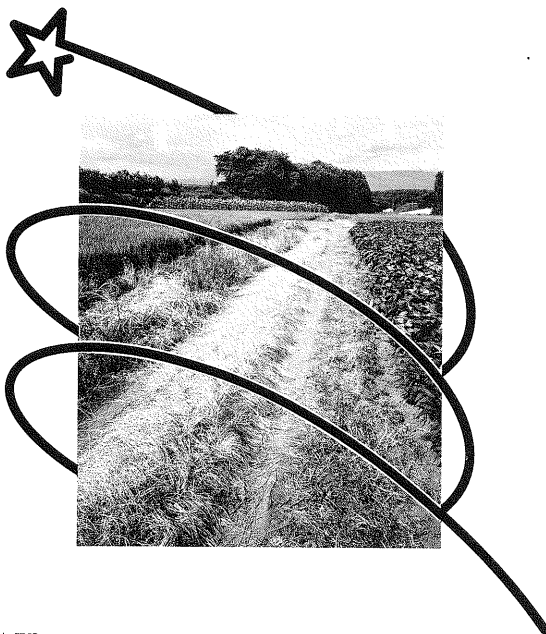
④米国モンサント社登録商標

詳しい資料ご希望の方は資料請求券貼付の上、下記へ。

お問合わせは最寄の農協(JA)、または農薬販売店へ。

事務局 日本モンサント株式会社 〒107 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル31階

水田畦畔の雑草の
枯れ残り、再生なし。
しかも安い、ポラリス。



自信の選択。



水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84剤

ウルフエース ザーク® フジクラス®
プッシュ® ゴルボ® レインジヤー®
カルショット® クサメッツ®

※DPX-84の一般名はペンシルフロニメチル



デュポン株式会社 農薬事業部

〒153 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコ・タワー TEL.(03)5434-6116

新しい流れ、 時代は1キロ、軽量化!!



10アール当り
1kgの散布

1キロ粒剤
の特長

- ①10アール(1反)当たり1kgの散布で安定した除草効果
- ②軽量なので作業が楽
- ③散布効率が向上
- ④軽量、小型なので持ち運びが楽
- ⑤最新技術で工夫した製剤
- ⑥省資源を目指した製剤



水稻用一発処理除草剤

ウルブエース 1キロ粒剤 51.75



JAグループ
農 協 全 農 経済連
®は登録商標です



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-91

効きめ、あざやか。

3.5葉期までのノビエを確実に防除
残効性が長く、経済的な――

水田中期除草剤

マメットSM 粒剤

クログワイなどの難防除雑草に
体系防除の中期剤としても使える――
初中期一発除草剤

ベールーフ 粒剤

- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



JAグループ

農 協 全 農 経済連

全 農 は登録商標 第1902445号

〔モリネット普及会〕

ゼネカ株式会社
株式会社トーメン
三笠化学工業株式会社

事務局：
八洲化学工業株式会社
〒213 神奈川県川崎市高津区二子757-1